

第71号

2019年(令和元年)11月

(P-2) 運営委員会からのお知らせ (2020年度の会員継続受付のお知らせ)

(P-12) 第6回学習会(三浦道寸ゆかりの地めぐり)





運営委員会からのお知らせ

2 会員継続受付のお知らせ

学習会

- 3 第4回学習会(訪問講座) 特別展「東洋学への誘い」の見どころ
- 7 第5回学習会

「三浦道寸」―伊勢宗瑞に立ちはだかっ た最大のライバル―

12 第6回学習会(探訪) 「三浦道寸」ゆかりの地めぐり

分科会からの便り

- 17 「寺社を巡る会」活動記録(8月~10月)
- 20 「ふれあいの道歩こう会」実施概要No.27

代表 江口 正彦

22 「懐かしの映画を観る会」№32

代表 佐藤 晃

28 「浮雲俳句会」抄録№47

代表 北野 清市

33 「パソコンを使いこなす会」 パソコン何でも相談室【20】

代表 林 洋

歴史研究

35 「江戸時代の五街道を歩く」(8)

「古文書を読む会」 代表 真田 雅行

42 行事予定(12月~2月)



金沢区生涯学習"わ"の会

ホームページ:http://kanazawa-wanokai.in.coocan.jp/ メール:yokohama.kanazawa.wanokai@gmail.com

金沢区生涯学習 "わ"の会 2020年度の会員継続受付のお知らせ

1. 会員継続の申込受付

2020 年度の"わ"の会への入会は、例年通り現会員を優先といたします。現会員の継続受付は、前々回9月の学習会から開始しました。継続を希望される場合は下記の領収書・申込書に必要事項をご記入のうえ、年会費3,000円を添えて、本日11月の学習会でお申込下さい。また、継続ご希望で、学習会での手続きが出来なかった場合は、11月30日(土)までに下記(2)の銀行口座へ会費3,000円をお振込下さい。なおこの、11月30日をもって、会員の優先申込を締切らせて頂きます。

(1) 学習会で申込の場合 下記申込書にて申込ください (11月の学習会で)

(2) 銀行振込で申込の場合 振込先 (11/30まで) 横浜銀行 金沢支店(店番号 351) 普通預金口座番号 1324219 名義人 金沢区生涯学習わの会 代表 内田 孝知(ウチダ タカトモ)

2. 2020 年度の学習会計画

学習会ごとの皆様からのアンケートなどを参考に、下表のような 2020 年度の学習会計画を作成しました。 講師・会場・テーマにつきましても、一部変更の可能性のあるものもございます。

それらにつきましては確定次第、会報やホームページでお知らせいたします。

	開	催日	テーマ	講師	会 場
1	5/9	11:00 ~ 12:30	新約論語:科学と歴史 副題:孫にもおしえてあげた くなる話	"わ"の会 会員 工藤 君明氏	能見台地区センター
'	(土)	13:30 ~ 15:00	"わ"の会懇親会 (第 1 回学習会終了後)	"わ"の会会員 会費:3,000円	横浜市大シーガルセン ター ゲストルーム
2	6/13	3(土)午後	「伊勢」から「北条」へ 一関東管領北条氏の誕生ー	東京大学 文学部 研究員 谷口 雄太氏	金沢地区センター
3	7/1	1(土)	北条氏康の武蔵・上野侵攻	東京大学 大学院 人文社会系研究科 助教 木下 聡氏	能見台地区センター
4	8/8(土)予定	[訪問講座] 金沢文庫展示関連(詳細未定)	県立金沢文庫 学芸員	県立金沢文庫
5	9/1	2土)	横浜市・横須賀市との市境の 確定に至る経緯について	NPO 法人 野口英世よこはま顕彰会 理事長 田中 常義氏	金沢地区センター
6	10/9	(金)	[探訪] 江戸城散策	NPO 法人 江戸城天守を再建する会	江戸城
7	11/14	4(土)	平家物語と吾妻鏡	鶴見大学 講師 平藤 幸氏	能見台地区センター

第4回学習会(訪問講座) 『特別展「東洋学への誘い」の見どころ』

編集委員 山腰 策次郎

開催日:2019年8月3日(土)

9:30~10:30

会 場:神奈川県立金沢文庫 地下大会議室

講師:神奈川県立金沢文庫

主任学芸員 梅沢 恵 氏



はじめに

毎年恒例となっている県立金沢文庫での訪問講座(第4回学習会)は、同庫で開催されている特別展「東洋学への誘い」に関連した講演であった。 当日は、朝9時には30度を超える猛暑だったにもかかわらず、60名を超える参加者があったことは、会員の尽きることのない知的好奇心のあら われなのであろうか。また、毎回この講演を楽し みに参加している会員が多いとも聞いている。

今回の講演では、金沢文庫主任学芸員の梅沢恵 氏が講師を務められたが、同庫での講演では、な んと5年続いての女性講師であった。少し華やい だ雰囲気のなか講演が始まった。

〈東京大学東洋文化研究所〉

今回の特別展は、東京大学東洋文化研究所の所 蔵物を中心に、金沢文庫とコラボレーションする 形で行われた。同研究所は、昭和 16年(1941) にアジア文化の総合的研究を目的として設立され、 約70万冊の図書を所蔵し、そのうち約11万冊 が清朝までに著された漢籍である。その漢籍類は、 昭和4年(1929)に中国研究を目的に外務所傘 下に創設された東方文化学院所蔵していたもので ある。同院は、東京研究所と京都研究所に分かれ ていたが、昭和 13 年に双方が独立し、東京研究 所が東方文化学院を継承した。昭和 23 年に東京 大学東洋文化研究所に吸収合併され、その蔵書も 同研究所に移管された。

これらの漢籍の大きな特色は、日本の博物館・図書館が所蔵する漢籍の多くが和刻本であるのに対し、東方文化学院が所蔵していた漢籍は、1920年代に中国大陸で蒐集し日本に持ち込まれた唐本である点である。

<県立金沢文庫の復興にあたり>

金沢文庫は昭和5年(1930)に復興されたが、復興にあたっては、当時博文館社主であった大橋新太郎氏の存在が大きかったことはよく知られている。県立の施設として復興するためには、教育施設としての「学校」のイメージ(設立しやすい)が意識されていたようである。講師の梅沢氏が「大橋氏が金沢文庫に寄贈した美

術品の中に銅造孔子立像(今回展示)があるが、 そのイメージ作りの一端を担っていた可能性が ある。青年修養施設として金沢文庫に隣接して いた昭和塾などで孔子を祀る釈奠が行われてい たことなどが想像される」と述べられていたこ とが印象的であった。

く特別展を観覧して>

今回の特別展「東洋学への誘い」での展示物の 大部分は、東京大学東洋文化研究所が所蔵する約 100点の図書が占めていたが、このように一般に 公開されるのは今回が初めてとのことである。

特別展では、東方文化学院の旧蔵資料が多く展示されていたが、戦国貨幣、ギジル壁画、ホータ

ン壁画などが特に印象に残った。

一方、金沢文庫からは、平安時代の旧鈔本である「文選集注」(巻第66)をはじめ、漢籍の利用を伝える鎌倉時代の古文書など8点(いずれも国宝)が出展されていた。

おわりに

今回の講演は、金沢文庫の特別展に合わせた内容であったことから、展示物の見学には大いに役立った。講演や見学では、普段あまり目にすることができない資料に触れられたことは良かったが、

馴染みのない資料も多く理解しづらい面が少なからずあったように思われる。簡単な解説書のような資料があれば、より一層理解が深まったのではと、少し惜しまれた。





2019 年度第 4 回学習会アンケート集計と実施報告

アンケート集計

『特別展 「東洋学への誘い」の見どころ』 講師:梅沢 恵氏

		一般会員	委員	計(出席率%)	ビジター	計	アンケート(提出率%)
出席者	男	44	9	53 (55.8)	0	53	
	女	8	1	9(45.0)	0	0	36 (69,3)
=	t	52	10	62 (53.9)	62	62	36/52

1. 講演内容評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	チェック無し
12名	19名	4名	1名

- 東洋学とは何ぞやと思っていたが、可成りイメージが沸いて来た。広いスケールの話で楽しかった
- 東洋学について具体的な話を聞いたのは始めてだったので興味深かった
- 内容が充実していたし、話術も優れていた
- 毘沙門天の話が面白かった。東大の東洋文化研究所と金沢文庫の関係がわかった
- 東洋学と県立金沢文庫のつながりなど良かった
- •「東洋学への誘い」さすが金沢文庫
- 東洋学という知らないテーマについて大変興味をもちました、ありがとうございました
- ・東大東文研、金沢文庫の成立ち等平素聞けない話は参考になりました
- ・ 金沢文庫、大橋新太郎との関連についてふれたところ
- ・ 金沢文庫・大橋新太郎のかかわりではじめてのお話がありました
- ・ 講演の中で金沢文庫に対し、大橋新太郎の功績が偉大であった
- 東洋文化学院について知ることが出来た
- 展示会にポイントを置いた分かりやすい講演で今迄の文庫の学習会では一番良かったと思う
- ・説明・口調が大変聞き取り易くよかったです
- ・仏画についての話が面白かった
- ・めずらしい書典を見ることが出来た
- 講師の個人的見解を聞けたのは良かった。ただ レジュメを用意されないのはいただけない。しゃべ る項目を列記するだけでもよいので、作成すべき
- ・時間が短い、レジメが欲しい
- 東洋研の紹介が中心と理解。「誘い」という事で PR 中心になるのは仕方ないがその先へのメッセージがわからなかった
- 足早やの口調で有りましたがまあまあの講演で有ったと思います

2. 梅沢講師に希望する講演テーマについて

• 金沢文庫の発掘に期待しますがそれ以外の話も明せきで面白そう

- ・近い時期に又講習願います
- ・ 御専門の絵画に関して網羅的、経時的な講演。金沢文庫の収蔵庫に豊富な文化遺産がある事はあまり 知られていない。県の貴重な遺産を是非開示願いたい
- ・ご専門の"中世"についてのご講演をお願いします。語り口がとても分かりやすいです
- ご専門の中世絵画史(特に巻絵など)をお願いしたい。絵画史と当時の人間の世相や考え方をリンクさせた話などは大変興味あります
- ・中世絵画についての話を聞きたい
- ・金沢区に関係ある歴史、文化等
- ・現在研究中もの紹介願いたい
- 梅沢講師の興味のあるままの展示を期待
- ・ 金沢文庫の説明(経緯等も含めて)

3. 学習会運営評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	チェック無し
7名	19名	3名	7名

- ・会場の冷房が寒かった、特に窓側(事前の対応が必要)
- ・暑い中御苦労様です

4. "わ" の会について

- 前にも提案したが『事典』作成から現時点に至る報告を会報へ記載すべきではないだろうか。
- 地元の金沢文庫に関わる勉強の場を提供戴けるとありがたいです

運営委員会の意見・感想

例年になく遅い梅雨が明けてからの猛暑の中、参加が少ないのではと危惧しましたが 62 名の参加とそこそこの参加者でした。

レジュメが無く、プロジェクター映像だけの講演、これもどうなるかと心配しましたが、歯切れのよい説明で皆様ほぼ満足だったのではと推察します。しかし 2 名の方からレジュメが必要、欲しかったとのコメント有り。やはりいくらビジュアルの説明が充実していても、手元に資料が欲しいのが正直な感想ではと推察します。改めて金沢文庫と大橋新太郎との絡み、関連が垣間見えたのは地元金沢にとっても宜しかったのでは。 "わ"の会代表 内田 孝知 記

第5回学習会

『三浦道寸』

(伊勢宗瑞に立ちはだかった最大のライバル)

編集委員 渡邊 紀一

開催日:2019年9月14日(十)

9:30~12:00

会 場:金沢地区センター 大会議室

講 師:真鍋 淳哉 氏

青山学院大学 非常勤講師



私達の住む三浦半島は、戦国時代初期には平和 な土地ではなかったようである。権力者たちによ る血で血を洗う凄惨な殺戮が繰り返されていた。 それは現代の世界中のどこかで際限なく行われ ている戦争に似ている。

人々は覇を競っていたそんな愚かな歴史の一 部を、三浦道寸をモデルに学んだ。

三浦半島を本拠に相模国最大の勢力を誇り、伊 勢宗瑞(北条早雲)と死闘を繰り広げた名門・三浦 氏最後の当主であった三浦道寸(義同)の政治史・ 戦乱史である。動乱の関東を戦い抜き、和歌に通 じた文化人でもあった勇将の鮮やかな生涯と美 文調で語られるが、所詮、この争いを主導した人 物であったと私は思う。



木造三浦道寸座像(三浦市 真光院蔵) 真鍋淳哉著「三浦道寸」より

三浦家の内紛

三浦時高の養子に入る(先に義同の実父・上杉高 |救が時高の養子とも)。 しかし、時高に実子高教 ひとつ) の上杉顕定に次いで祖父・大森氏頼を頼

扇谷上杉家から、新井城(三崎城とも)の主・が生まれたため不和となった。初め山内上杉家 (室町時代に関東地方に割拠した上杉氏諸家の ったが、大森氏領内の足柄下郡の総世寺で出家して道寸と号す。義同の実父・高救とその実兄で扇谷上杉家を継承した定正との不和によって定正に忠誠を誓っていた時高を実家に送り返したとも。そのため三浦氏の被官(上級の官吏に対して直属の下級の官吏をもさした)は両派に分裂してしまう。明応3年(1494)9月、義同は大森氏

の支援を受けて新井城を攻めて時高および高教 を滅ぼし、三浦家当主の座と相模の守護代職を手 に入れる。その後、実子の義意(荒次郎)に家督 を譲って新井城に据え、自らは相模中部の岡崎城 (現伊勢原市)に拠った。

但し、この内紛について近年では義同が三浦氏 に復帰し、その家督を奪ったとする考えもある。

伊勢氏の相模進出

その後、上杉定正の死後に家督を継いだ朝良 (道寸の従兄弟)と和睦して、台頭してきた安房 の国の里見氏と同盟を結んだ。

同時期の明応 4 年 (1495)、西相模を抑えていた小田原城の大森藤頼 (道寸の母方の叔父にあたる)が駿河今川氏の軍師・伊勢宗瑞 (北条早雲)に城を奪われるという事件があった。(但しその年次ついては明応 5 年以後とする異説あり。また藤頼が山内上杉家の上杉顕定に降ったため早雲に攻撃させたという説もある)

早雲は伊豆国と小田原を本拠に次第に独立して戦国大名化し、関東へ本格的に進出を始める。

道寸は藤頼を保護してこれと争うが、早雲は山内 上杉家と対抗するために明応 7年(1498)、上 杉朝良・三浦道寸に対して同盟を提案する。話し 合いの結果、顕定が守護職であった伊豆を二分 (早雲が伊豆半島、道寸が伊豆諸島を領有)する ことで和睦成立。

その後、早雲と朝良は上杉顕定を立河原の戦いで破ったが、やがて両者は対立するようになり、必然的に扇谷上杉家傘下の三浦氏とも対立するようになる。これに対し義同は永正7年(1510)、小田原城の早雲を攻め、逆に早雲も岡崎城に攻撃を加えた。

三浦家の滅亡

永正 9 年(1512)、ついに早雲は兵を挙げ岡崎城に攻撃を開始した。敵せずと見た道寸は弟・道香の守る住吉城(現逗子市)に退却、抵抗を続けた。しかし、道香も戦死。道寸は更に新井城へ退却、扇谷上杉家へ援軍を要請。しかし、援軍に向かった太田資康も北条勢に迎撃され返り血を浴び討死した。城内で酒宴が催されたが、城から逃げ出す者は皆無であったという。翌朝、三浦勢は城から出て大いに戦ったが、圧倒的な敵の前にさんざんに打ち負かされた。

その後、道寸・荒次郎(三浦義意)父子は三浦 半島の新井城に籠城、北条軍がこれを包囲した。 三方を海に面した天然要害であり、三浦水軍の軍 事力を背景に持つ新井城の守りは堅固で、三浦父子は北条軍の攻撃を 3 年間に渡って抑えていたが、永正 13年(1516)ついに落城し家臣ともども討死した。

平安時代以来の豪族三浦家は、鎌倉時代に北条氏によって滅ぼされ(宝治合戦)、南北朝期復活した後、再び「北条」によって滅ぼされることなった。なおこの落城の際、城を臨む入り江は三浦の兵の血で赤く染まり、油を流したようになったために"油壺"と呼ばれるようになった。

そして道寸は辛くも城へ戻りその場で自害して果て、これによって名門三浦氏は滅亡した。 享年66歳。

歌人としての三浦道寸

歌人・東常縁の指導を受けたとも言われているが、動向は不明な点が多く、実際に古今伝授を受けたかは難しいと判断せざるを得ない。しかし和歌が当時の武将にとって必須教養であった事を思うと道寸がこの道を好み精進を重ねたことは事実であろう。道寸が和歌を好んだことは様々な資料で確認することができるという。

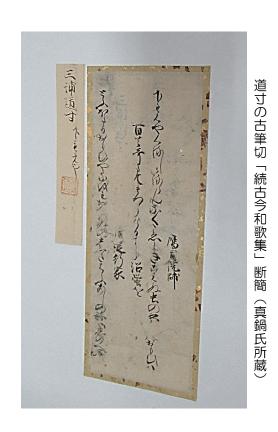
<道寸の時世の句>

「討つ者も 討たるる者も 土器(かわらけ)よ くだけて後は もとの土くれ」

北条五代記によれば最後は十字状に割腹したと記されている。



新井城址近くにある三浦道寸の墓



2019年度第5回学習会アンケート集計と実施報告

アンケート集計

『三浦道寸』【伊勢宗瑞に立ちはだかった最大のライバル】 講師:真鍋 淳哉氏

		一般会員	委 員	計(出席率%)	ビジター	計	アンケート(提出率%)
出席者	男	53	9	62(65.3)	0	62	
	女	12	1	13(65.0)	2	15	32 (47.8)
計	+	65	10	75(65.2)	2	77	32/67

1. 講演内容評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	チェック無し
18名	12名	2名	0名

- 三浦道寸の事が判った
- 道寸が和歌に造詣の深いことが初めて知った
- 伝道寸筆の古筆切と圓照寺蔵本との比較がとても興味深いものでした
- 熱意を持ってお話され、好感が持てた
- ・ 歯切れが極めて良
- 説明、話し方がわかりやすい
- レジュメが充実している。 史料が豊富かつ現代語訳が分り易い。 先生の著書の割引販売
- 資料が充実していて良かった、様々な乱の流れの中で良い構成でした
- 複雑な内容だが、かなりわかり易かった
- 身近に存在する人物で興味深かった
- 道寸に関する資料は復習して再度日を通し学びたい
- 争乱の今までの個々の乱の話がまとまり関東の両上杉の関係が分かった
- ・子供の頃読んだ関東の歴史(両公方、両上杉)と継がって懐しい話でした。もう少し勉強して見ます 後世に編まれた歴史はフィクションも盛り込まれ、事実を推理することの面白さに共鳴しました
- ・複雑怪奇の室町時代の各乱をわかり易く解説された(但し、本人はまだ十分に消化しきれていない)
- 我々の居住せる三浦半島に関わる北条と山内 扇谷上杉と三浦一族との関連がかなり勉強になった
- •「山内」「扇谷」について少々理解した。真鍋淳哉氏の著書『三浦道寸』ゆっくり読むことにする
- 複雑な時代の混乱状態、その中での三浦氏をめぐるお話が理解(少し)できました。力説いただきありがとうございました
- ・三浦氏の全様が良く分った
- 熱心に説明していただき、ありがとうございます。複雑な内容でしたが、おもしろかったです
- 後半、道寸中心の話題になり、よかった。又自習してみたい、前半はやや難しい
- 本題に入る前の話が複雑すぎてフォローするのが大変、もっと省略して話を絞るべきだと思う
- 内容が細かく、理解がしがたかった
- たいへん面白かったが、先生言われるようにシッチャカメッチャカには理解を困難にさせている。参った!
- むずかしかった

2. 真鍋講師に希望する講演テーマについて

- 神奈川県を中心とした歴史概要
- 戦国時代
- ・戦国江戸湾の海賊の話 (水軍)
- ・三浦一族他何でも
- 三浦氏関連
- •「承久の乱」について
- ・今後共宜しくお願いしたい

3. 学習会運営評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	チェック無し
18名	9名	0名	5名

- 運営がスムーズ
- ・会員継続の受付、第6回学習会の受付がスマート

4. "わ" の会について

- ・新人であり、金沢区関連の歴史に関する知識がありません。総括的な入門編があると助かります
- 毎回御苦労様です



運営委員会の意見・感想

地元に関する武将をテーマにした事ゆえか、ビジター2名含めて77名の参加で、 総会時の第1回学習会の88名に次ぐ参加で喜ぶ状況でした。

内容は関東の三大争乱とも言える、享徳の乱、長享の乱、永正の乱に絡んだ両上杉の争い、そこに相模に攻め込む伊勢宗瑞との戦い、国衆と言う位置付け等、変化に富んだ時代に思いを馳せ、楽しい時間でした。また 道寸が歌道を好み精進を重ねて、「文武二道の両将」と評価され、かつ古今伝授を受けたとされる話、初めて知り、非常に興味深い内容でした。

エネルギッシュに熱心な講演、素晴らしい内容でした。

"わ"の会代表 内田 孝知 記



第6回学習会【探訪】 『三浦道寸ゆかりの地めぐり』

編集委員 江口 正彦

開催日:令和元年10月11日(金)

ガイド: NPO 法人よこすかシティガイド協会、探訪実行委員会

コース:三崎口駅→外の引き橋→義士塚→荒井山真光院(法話)→新井城址

→観潮荘(昼食) →以降雨の為中止(解散) [→小網代の森→白髭神社]

【概 要】

今回の探訪は、9月の学習会で真鍋純也氏が講演された「三浦道寸」を基に三浦道寸終焉の地である新井城址を訪れました。三浦一族の最後のとりでとなった新井城は、三方を海に囲まれ、つながる陸地ですら堀や柵で幾重にも囲まれ、敵を寄せ付けない名城であった。

その新井城にまつわる、外の引橋、義士塚、真 光院、なもた坂、内の引橋、新井城址、東大 三崎臨海実験所、新井城址、三浦荒次郎供養 塔、三浦道寸供養塔を訪ねた。観潮荘での昼食 後雨が強くなりそれ以降の小網代の森と白髭 神社への探訪を中止し解散した。

【探訪】

三崎ロ駅から集合次第班ごとに引橋バス停までバスにて移動し、探訪が始まった。

引橋(外の引橋)



が、ここが「外の引橋」のあったところです。 三浦一族の本拠地である新井城に行くには、 どうしてもここにかかった橋を渡らねばな らなかった。 しかし、いざ敵が攻めて来る 時には橋を引いて渡れなくしてしまうので、 引橋という名前が今でも残っている。橋の そばに、白秋文学コース「ひきはし」の説明 版があり、以下はその一部です。

『「引橋の 茶屋のほとりを いそぐとき ほとほとと秋は 過ぎぬと思ひき」「山峡に 橋を架けむと かがやくは 行基菩薩か 金色光に」。以前橋のたもとに茶屋があり街道をまたぐ藤棚や、左右の渓の木々が紅葉し、遥かに相模湾をへだてて富士山は美しい景

観で三浦名勝の一つとして知られています。 白秋は俗謡「沿海雑曲」での一節に次のよう に詠んでいる。

「茶は引橋 藤の花盛り 娘ざかりは 来て 三崎」』

義士塚

引橋を出て向入しまで、に輪折くしま



っていくと、畑の中に小さな土を盛った義士塚がある。

永正 13年(1516)、三浦道寸と北条早雲との争いで、新井城を守っていた三浦道寸の子の荒次郎義意は 85 人力と言われ、北条早雲の部下達にも知れ渡っていたので合戦の時、誰一人荒次郎に向かってくる武士はいなかった。荒次郎は樫の丸太を約 3mに削り、八角に削って筋金をわたした棒を振り回すと四方八方へ逃げる敵を追い詰め、棒に当たって死んだ武士が 500 人にも及

んだ。ところが突然北条方 4 人の武士が勇敢にも荒次郎に躍りかかった。とうていかなうはずもなく、荒次郎に殺されかかった時、父の道寸が「敵ながら天晴れ、生かしてあろう」と合戦が終了し、新井城は落城、道を助けた。合戦が終了し、新井城は自分達を助けた。合戦が終了し、新井城は自分達を対してくれた恩に深く感謝し、自分達も武人らしく自害したと伝えられる。この塚は4基あったは大きが進み2基になり、現在は1基のみとなったようだ。

なもた坂

義士塚から油 壷方向に少し 歩いたところ でなもた坂と 云う坂に出る。



なもた坂は、県道油壷線ができるまでは三 崎から小網代に通じる主要道であったそう だ。この坂の途中には名主である高橋家が あり、屋号「なもた」と云ったことから、こ の地の者はこの坂を「なもた坂」といった。 この坂を下りた奥深い渓谷で、やっと水を 得た新井城落城寸前に脱出した道寸の側室 であったが、それまでの無理がたたり、あろ う事かその場で死産してしまった。側室は 大いに悲しみ、川のたもとに我が子を埋め てねんごろに葬ると、若き生涯をこの淋し げな小川で自害して果ててしまった。後世 になり、もし妊婦がこの小川の脇を通れば、 必ず同じお産の苦しみを味わい、また産後 に亡くなった女性は、あの世でも同じ苦し みに遭うという俗説が広まる事となった。

庚申塔と馬頭観音

三叉路際に「7基の東申塔と2基の馬頭観音」が並んでいる。その内5基の庚申塔は



笠付きという豪華なもの。また2基はショケラをぶら下げている。造立年代は寛延2年(1749)から明治34年(1901)までとのこと。

荒井山潮音寺 真光院(浄土宗)三浦不動明王第16番札所、本尊は阿弥陀如来立像

次になもた坂の近くの 荒井山潮音寺真光院を 訪れ住職のお話を拝聴 した。

真光院は新井城の城内 にあったこともあり道 寸、荒次郎が深く帰依 していたと伝えられて



いるお寺である。本堂には、江戸時代末の作と推定される衣冠装束姿の道寸父子の像が祀られている。

ご住職の話では、この道寸父子の像は初めからあったのではなく、江戸末期小網代で火災があり焼失(真光院以外は)したため、どこかの寺にあったものでどうやってこの寺にやって来たか経緯は良く分からないようだ。住職のご配慮で、ご本尊と道寸父子の像を間近で拝観させていただいた。

本堂の脇には観音堂があり、こちらに観音菩薩が祀られている。この観音像は、浦賀奉行与力の中島三郎助が将軍よりいただいたものだといわれているが、当日は台風19号に備えて扉は板で補強されていた。







内の引橋

真光院を出てマリンパーク方向にしばらく歩くと馬の背になっている場所がある。



城址に入る手前の

道が狭くなっているこの場所は、橋を引くと渡れなくなることで『内の引橋』と呼ばれている。

左下の油壷側を海辺まで降りると国土地理院の油壷験潮場があり、現在海面の昇降(潮位)を1秒間隔で自動的に潮位観測を行い、ネットワーク回線を利用し、リアルタイムでつくば市の国土地理院に伝送されている。

東大三崎臨海実験所

東京大学大学院理 学系研究科附属臨 海実験所(通称:三 崎臨海実験所)は 神奈川県三浦半島 の西南端に位置



し、半島の東側は東京湾、西側は相模湾に面 している。世界的にも稀な豊かな生物相を 有するこの地を動物学研究の拠点とするた め、東京大学三崎臨海実験所は 1886 年(明 治 19年)に現在の三崎の町(入船)にわが 国最初の、世界でも最も歴史の古い臨海実 験所の一つとして設立された。1897年(明 治30年)に、より生物相の豊かな油壺に 移転して現在に至っており、2016年には 創立 130 周年を迎えた。この場所は戦国時 代に三浦一族の居城だった新井城(荒井城) の跡で、北条早雲の包囲により三浦道寸、荒 次郎父子が討死して落城して以来、亡霊が 出るとて人々が寄り付かぬ閑静な場所であ ったし、海岸線の変化に富む点でも入船の 実験所よりはるかに優れていた。事実,移転 後に数多くの新種や珍種が新たに発見され ている. 設立以来、多数の国内外の研究者・ 学生に利用され、その数は年間延べ2万5 千人にもなる。わが国における生物学の発

展に大いに貢献をしており、世界的にも、ウッズホール(米)・ナポリ(伊)・プリマス(英)の各実験所と共に海産動物研究の歴史に大きな足跡を残している。

新井城址

東大三崎臨海実験 所の手前を左折 し、本丸跡の近く で新井城本丸跡 (現東大三崎 実験所本館)と空



堀の説明があった。新井城は、周囲を崖と土塁で囲まれていた。廃城となった後は人も恐れて寄り付かず荒れていたが、国有地として管理されたため城の遺構は良く残っている。さらにこの先の右上に千駄やぐらがある。千駄(千頭の馬)が運べる米俵 2000 俵のコメが保存出来た大きな洞窟があるが現在は小屋が建って入口をふさいでいる。西曲輪(ニの丸)で城兵がいたところは、マリンパークのある所で北条との最後の合戦場となったところは、昼食を食べた観潮荘周辺とのこと。

左側に油壷湾があるが、新井城での戦いで討死にした三浦家主従たちの血で海がある。 たちのかある。



真っ黒に染まったことから、今の地名油壺の呼び名がついたとされる。当日は、台風19号に備えてヨットなどが避難し、油壷湾は多くの船で埋まっていた。

その先の突端の右下には、荒井浜海水浴場があるが、この浜では毎年5月最終日曜日に道寸祭りがあり、笠懸(かさがけ)が行われる。笠懸とは、流鏑馬(やぶさめ)、犬追物(いぬおいもの)と並ぶ我が国三大古弓馬術のひとつで、矢道の両サイドに竹矢来(たけやらい:竹で作った囲い)などを立ててそ

の間から的を狙うという、流鏑馬などと比較しても極めて実践的で難しい弓馬術です。この笠懸を鎌倉発祥の武田流一門の射手達が砂浜を疾走し矢を的に放ちます。笠懸は三浦一族のお家芸となった。「道寸祭り」は、その三浦一族の鎮魂祭として行われているとのこと。

新井城碑と三浦荒次郎義意の供養塔

東大三崎臨海 実験所入口に 戻り、マリンパ ーク前を右に 行くと、荒次郎



の供養塔がある。この供養塔は海蔵寺が管理しているそうだ。荒次郎が自害し自分で首を切ると首は飛んで小田原の海岸の松の枝に掛かり、目は逆さまに裂け、3年の間はそのままだったと伝わる。そこで、城下の僧が代わる代わる供養したが、成仏しなかった。これを聞いた久野総世寺の四世忠室存孝和尚が駆けつけ、松の下に立ってしば

らく読経の後、「うつつとも 夢とも知らぬ ひとねむり 浮世の隙を 曙の空」と詠むと、 さしもの怨霊も成仏し、たちまち白骨とし て地に落ちた。その時空より「われ今より当 所の守り神にならん」との声があったとい う。

胴体は漁師のあみにかかり引き上げられ、 そこが胴網海岸と云われるようになった。

三浦道寸の供養塔

荒次郎の墓の先に行くと 道寸の墓がある。

道寸の供養塔には「討つ 者も 討たるる者も 土器 (かわらけ)よ 砕けて後 は 元の土塊(つちくれ)」 という辞世の和歌が刻ま れている。



道寸らの自害は永正 13年7月11日、くしくもこの74年後の7月11日に、早雲の曾孫・氏政(うじまさ)が豊臣秀吉により自害させられている。

観潮荘に戻り観潮荘前で午前の部及び横須 賀ガイドはここまでで終了。

その後、観潮荘レストラン潮彩にて各自好みの昼食をとった。

今回の探訪は台風19号が翌日接近予定と、 9月の台風15号の影響で小網代の森の通 り抜けが出来ず柳テラスで引き返し、白髭 神社にて解散予定でスタートした。

真光院出発後若干雨が降ったものの午前の

部は無事終了出来たが、しかし午後の部は 一時雨が強くなり、小網代の森の木道が滑 りやすくなることに鑑み中止とした。

小網代の森と白髭神社は探訪実行委員会メンバーでのガイドを予定していたので残念であった。

引橋、義士塚、なもた坂、真光院、千駄やぐらなどあまり知られていない説明が受けられ、良い探訪になったのではと思います。

運営委員会の意見・感想

今回の探訪は、台風15号の影響で一部ルートを変更して実施しましたが、朝から空模様が怪しく、午前中は何とかもったものの、午後の部をスタートするころから雨足が激しくなり、シーボニア入口バス停で中止とし、その後自由解散としました。このような天候不良にも関わらず45名(ビジター3名含む)の参加者があり、かつ安全に探訪が終了出来た事は、参加者のご協力と努力の結果と感謝しております。

よこすかシティガイド協会は、過去に"わ"の会探訪(2012年:三浦一族ゆかりの地めぐり)、寺社を巡る会(2015年:三浦三十三観音巡り)で利用した経緯などから今回お願いしましたが、そのガイドについて、再三1日コースを要望したにもかかわらず、最終的に半日コースになったことは、大変残念でした。

今回の探訪を踏まえると、自前の探訪は、コース設定、レジュメ作成等準備は 大変で苦労も多いですが、きめ細かく対応出来、満足度の高い結果に繋がる のではと考えています。加えて今後 行程、時間割含めて探訪の設定を検討す る必要が有るのではとも考えています。会員の皆様には ご指導の程宜しくお願いします。

"わ"の会代表 内田 孝知 記





『寺社を巡る会』活動記録 令和元年度第4回~第6回

第4回 「五木寛之·百寺巡礼」DVD鑑賞

開催日:令和元年8月1日(木)

場 所:金沢地区センター2階中会議室

参加人数: 男性30名(内ビジター4名) 女性8名(内ビジター1名) 合計38名

DVD鑑賞「五木寛之·百寺巡礼」

【神宮寺】 福井県小浜市 天台宗 創建: 伝714年(和銅7年)

【石塔寺】 滋賀県東近江市 天台宗 創建:伝 592~628年(推古天皇在位年間)

【専修寺】 三重県津市 浄土真宗高田派本山 創建:1469~1487年(文明年間)

【神宮寺】

元明天皇の勅願により建てられた神仏習合の 寺院として栄える。背後の山をご神体として本堂 には注連縄が張られている。本堂内陣には本尊の 薬師如来が日光月光菩薩を従え十一面千手観音 等が、右隣には和加佐比古大神(若狭彦神)、和 加佐比女大神(若狭姫神)等の神々が鎮座する。 毎年3月2日には「お水送り」が行われる。

【石塔寺】

創建は聖徳太子とされる。太子が琵琶湖近江一帯に建てた四十八寺の最後に建てられたことから、当初は本願成就寺と呼ばれていた。紀元前三世紀にインドのアショカ王が世界中に撒いた八万四千基の塔の一つが本願成就寺の裏山から発見され、塔は「阿育王塔」と名付けられ寺も石塔寺と改められ一条天皇の勅願寺となる。人々は先

祖の供養や極楽往生を願い五輪塔や石塔石仏を奉納するようになり、現在は三万基に及ぶ。

【専修寺】

栃木県真岡市(下野国・高田)にある専修寺を 起源とする。第十世真彗(しんね)が伊勢におけ る高田教団の拠点として一身田に無量寿院を建 てた。真岡の高田専修寺が焼失したため高田派の 本山機能を移し専修寺と改められた。比叡山延暦 寺より受領した阿弥陀如来立像を本尊とする。

当初予定のDVD鑑賞「浅草寺」は映写と時間の都合で、又の機会となりました。

「準会員制度」についての提案の説明が吉田代表からありました。

(熊谷 滋子 記)

第5回 曹洞宗大本山總持寺を参拝

開催日:令和元年9月13日(金)

参加人数:男性26名(内ビジター1名) 女性11名(内ビジター1名) 合計37名

コース: 京急鶴見駅改札前(集合)~成願寺~本山駅跡~總持寺(伽藍拝観/三松閣(昼食)/

伽藍拝観/著名人墓地)~東福寺~花月園跡(解散)~京急花月園前駅

京急鶴見駅から出発。成願寺へ向かう。一風変わった真っ赤な仁王像が迎えてくれた。寺宝として十二神将を所蔵し、古くから東海道沿いの秘仏として篤い信仰を集めていた。明治 40(1907)年大本山總持寺が移転を決めた際、境内全体を寄進した。現在の總持寺存続に大きく貢献している。

次に本山駅跡へ。駅名の由来は、近くに總持寺が存在するが、總持寺は曹洞宗の大本山であり、 その本山を取って駅名とした。隣駅の国道駅と同様、付近の建築物の名前から採用している例である。

次は壮大な寺域を持つ曹洞宗大本山の總持寺である。門前に立って目に飛び込んでくるのが「三樹松関」と書かれた扁額の総門である。総門をくぐり150m程進むと山門となる。鉄筋コンクリート造りでは、日本一の大きさを誇る。次に小高い丘陵に大梵鐘がある。大正2(1913)年に鋳造され、関東一の大きさを誇る。丁度11時の時を告げていた。三松閣、向唐門(改修中)香積台などを見学する。そして精進料理の昼食及び座禅体験まで雲水に案内頂いた。終了後、二班に分かれて、雲水ガイドで伽藍及び伽藍をつなぐ回廊を巡り解説をして頂く。香積台(入場した伽藍)を14:15頃に出発する。敷地内にある墓地には浅野総一郎や石原裕次郎をはじめ、多くの著名人が眠っているこ



總持寺香積台

とでも知られている。墓所は極めて広大であるが、 無事に著名人のお墓に参拝する事が出来た。

次の東福寺に向かう。その山門 50m位手前の一角には柵に囲まれた石碑がある。この中に芭蕉「観音の甍みやりつ花の雲」句碑がある。また、小さなお堂が有り、三途の川を渡る人から衣服を奪う奪衣婆の像がおさめられていた。ちょっと恐ろしそう・・・・。

次の東福寺は寛治元(1087)年醍醐寺の勝覚僧 正の開創と伝えられており、真言宗智山派に属し ている。本尊は子育て観音で知られる如恵輪観音 で子年毎にご開帳されている。江戸時代には参詣 者が多く、門前では子育て饅頭が売られ、鶴見名 物の一つに数えられていた。

東福寺から元の坂道に戻り、20m程坂を下り右手に入った所が花月園競輪場跡地である。当初は子供の夢や心を育てる遊園地の必要性を感じ、花月園として大正3(1914)年に開いたが、昭和21(1946)年に閉鎖した。その後昭和25(1950)年に当時日本一の競輪場が開設されたが平成22年に60年の幕を閉じた。現在大規模工事が行われており何年後かには、また違った姿となり新しい街が出来る事と思われる。花月園跡前で解散挨拶を行い、京急花月園前駅より帰路へと向かった。 (金久保常二記)



總持寺精進料理

第6回 小田原城周辺の寺社を巡る

開催日:令和元年10月3日(木)

参加人数: 男性21名 女性8名(内ビジター1名) 合計29名

コース:箱根板橋駅-(小田原上水)-本応寺-光円寺-居神神社-玉伝寺-大久寺-

西海子小路-小田原文学館-大蓮寺-正恩寺-小田原なりわい交流館(昼食)-

松原神社ーういろう一報徳二宮神社一小田原城本丸広場(解散)

雲は多いながら薄日が差し雨は心配なさそうな 天気、定刻箱根板橋駅を出発、駅前の国道を横断 してしばらく行くと小田原上水のほとりに着く、 ガイドさんの説明によれば小田原地区には 168 ヶ寺あり、板橋地区は 15 ヶ寺ある、理由は戦国 時代小田原の西側外周を守るためのお寺であると いう、そのため古い宗派のお寺が多いそうである。 上水に沿って歩き最初に到着したのはレジュメに 記載の無い本応寺、春日局が関係する由緒あるお 寺。

上水は光円寺手前で地下に潜り姿を消す、聞けば光円寺本堂の下を通っているとのこと、境内に大銀杏がある、付近は板橋見附であり往時の旅人が小田原城下町そして海へ出た漁師が小田原の目印としていた大木である。

光円寺すぐ隣が居神神社、戦いに敗れた三浦義 意が自らはねた首がこの地に飛んできた逸話のあ る神社、境内にある五輪塔・板碑は市の文化財であ る

次は玉伝寺、北条氏が京都から招いた薬屋「ういろう」は北条氏の庇護下繁栄した、商品名・屋号・名字が同じ外郎家の私的なお寺、外郎家代々のお墓がある。

大久寺に向かう途中国道から見た光円寺の大銀 杏、大きく立派な姿を見ることができた。大久寺 は大久保家の菩提寺、大久保氏の移動により一時 衰退するが大久保氏の手により再興される。

人車鉄道小田原駅跡を通り、西海子小路に。この地一帯は馬場、武家屋敷、別荘地と変遷し、その地名は生け垣として植えられていたサイカチの木に由来するそうだ。現在は桜並木になっている。田中光顕(元宮内大臣)の別邸が小田原文学館として使用されている。

西海子小路先に朝鮮通信使が宿泊した大蓮寺、さらに「尾三相州転遷之道場」と呼ばれる正恩寺を 巡り、御幸浜で小休止、旧魚市場を通り小田原なりわい交流館に到着。旅籠、漁網問屋を経て無料のお休み場として整備された、ここにて昼食。

午後は明治天皇宮ノ前行在所跡·本陣跡を巡り 松原神社へ、松原神社は北条氏をはじめ歴代の城 主の庇護を受け、小田原宿の総鎮守として発展し た、現在も盛大な祭礼が挙行されている。

「ういろう」の店前を通り最後の探訪先は報徳二宮神社、明治27年に二宮尊徳を祭神とし建立された神社。境内には二宮尊徳の大人と子供の銅像がある。子供像はおなじみマキを背負い読書する姿で背丈は1m。メートル法が導入され1mの長さを認知させる背丈である。

今日のコースは殆ど平坦で坂らしい坂は無かっ たが最後かなり急な坂を上り、最終地小田原城本 丸広場に全員無事到着した。

(杉山茂記)



松原神社鳥居



小田原城天守閣

「ふれあいの道歩こう会」実施概要 No.27

代表 江口 正彦

独自コース 72番 「展望の頂 水沢山(1,194m)」(通算 153 回)

今回は、18、19日が雨の為26日に延期し実施しました。水沢山の頂は坂東三十三観音霊場の一つ水沢観音の裏にそびえることから水沢山の呼び名で知られています。水沢観音からの登山道は地元愛好者で結構登山者がいました。最初の1時間40分は急登で結構きついものでした。山頂からの眺めは、生憎の曇り空であったが、晴れの日はスカイツリーを始め、新宿副都心を眺望できるという。山頂で昼食をとり伊香保温泉に向かって下山です。途中展望台あたりで小雨が降り出し、コースを変更し見晴駅からロープウェイで伊香保温泉に泉に予定より早く下山できました。雨も上がり見晴駅からは、谷川岳、尾瀬方面の山々が眺められました。

実 施 日:2019年7月26日(金) 天候:曇りのち小雨

歩行距離など: 歩行時間 約4時間 歩行距離 約4.5km 参加 者: 13名(男性10名 女性3名)

コース所在地:群馬県渋川市

交 通: 往路: 横浜駅 5:53 発(上野東京ライン前橋行)→8:16 着 高崎駅 8:24 発(上越線水上行) →

渋川駅 8:50 着、タクシーに乗車 9:00 発→水沢観音駐車場 9:20 着

復路: 伊香保温泉バス停 14:37 発~渋川駅 15:05 着、渋川駅 15:31 発→15:56 着高崎駅

16:11 発(湘南新宿ライン)→横浜駅 18:31 着

コースと時間: 水沢観音駐車場 9:40 スタート→水沢山登山口 9:50 通過→お休み石 10:35 通過→十二神将

石仏前 11:30 通過→水沢山 11:50 着、[昼食後 12:30 発]→林道出合 13:10 通過→つつじ ヶ斤展望台〔オレンジタイム 13:20~13:50〕→ロープウェイ見晴駅 14:10 着(トイ

レ)14:30 発→ロープウェイ不如帰駅 14:34 着→伊香保温泉バス停 14:36 着

ご存じでしょうか! 水沢観音(慧灌僧正が開山)と伝説

群馬県を代表する名湯の一つ伊香保温泉は、垂仁天皇の御代に開湯したと伝えられ、二千年の歴史を誇る。 その伊香保温泉から程近いところ、山懐に抱かれた水沢観音の諸堂が鎮まっている。

境内で目をひくのが、県指定文化財の六角二重塔である。内陣が回転するようになっており、三回まわして 祈願するという。各面には等身大の地蔵菩薩を祀り、楼上には大日如来が安置されている。六道輪廻をあらわ しており、元禄年間(1688~1704)に建立された。

推古天皇の御代(592~629)、高辺左大将家成は上野国に左遷され、勢多郡深須郷に蟄居した。家成には一男三女があり、嫡男の家定は中納言として上京。家成の妻は深須の地にて病死したため、更科大夫宗行の娘を後妻に迎えた。家成も許されて都に上った後、残された後妻は、先妻の子供を妬んで、親族の更科次郎兼光とともに赤城山麓で牧狩りを計画し、その折に三人を吾妻川に沈めて殺そうとした。姉二人を殺した後、残る伊香保姫も川に沈めようとした時、赤城山から黒雲が起こり、風雨激しく雷鳴が轟いたので、兼光らは驚き逃げ帰った。伊香保の郷に隠れ住んだ姫は、都に事の次第を報告、父はすでに没していたので兄の家定が下向して、兼光たちを成敗した。後に姫は中将高光に嫁ぎ、慧灌僧正に請うて念持仏を祀ったという

水沢山仲間と嶺へ梅雨の空 一虎



水沢観音からの急登



見晴駅からの眺望

独自コース 73番 「天女山から美し森そして清里へ」(通算 154 回)

天女山は、標高 1528.8m、八ヶ岳から派生する尾根末端の小突起が、天女山。ちょうど大泉高原の最高所にあたります。今回は、小海線の時刻改正で時間がタイトの為甲斐大泉からタクシーで天女山駐車場まで行きました。天女山からは、南アルプス、奥秩父、富士山と眺望は大変ワイドでした。八ヶ岳牧場に到着多くの牛が放牧されており、牧場の中を横切り展望台で昼食。牧場からは、富士山、奥秩父連山、権現岳、赤岳などが見れました。その後羽衣池、そして美し森を経て清泉寮で名物のソフトクリームをいただきました。清泉寮からは、南アルプス、富士山、金峰山、奥秩父などの眺めは素晴らしいものでした。

実 施 日:2019年9月19日(木) 天候:晴れ

歩行距離など:歩行時間 約 4.5 時間 歩行距離 約 10km 参 加 者:20 名(男性 16 名 女性 4 名)

コース所在地:山梨県北杜市

交 通:〈往路〉金沢文庫(京急) 6:50 発→7:10 着 横浜 7:18 発(JR 京浜東北・横浜線)→8:23 着 八 王子(乗換) 8:33 発 [あずさ5号](JR 中央本線)→9:53 着 小淵沢(乗換) 10:06 発(JR 小海線)→10:21 着 甲斐大泉

〈復路〉清里 15:41 発(JR 小海線)→16:04 着 小淵沢(乗換) 16:36 発[あずさ 26 号] (JR 中央本線)→18:00 着 八王子(乗換) 18:08 発(JR 横浜線)→ 19:06 着東神奈川(乗換) 19:12 発(JR 京浜東北線)→ 19:15 着 横浜

コースと時間: 甲斐大泉駅 10:30 出発(タクシー)⇒10:40 着(天女山駐車場)→10:45 着 天女山(展望台) [準備体操] 11:00発→11:45 着 八ヶ岳牧場展望台[昼食] 12:05発→12:40 着 (川俣川渓谷(東沢)) 12:45 発→13:20 着 羽衣池 13:25 発→13:50 着 美し森(展望台) 13:55 発→14:25 着 清泉寮[ソフトクリームタイム] 14:50 発→15:25 着 清里駅 [解散]

ご存じでしょうか! 清泉寮の立地と名前の由来

清泉寮は富士山の見える場所に建っています。

日本聖徒アンデレ同胞会の新しいキャンプ場を建設しようと、候補地を探していたポール・ラッシュ博士が、 条件として考えていたのは、日本の象徴である富士山が見える場所でなければならないという事でした。

甲府の談露館の主人である中沢氏の紹介で清里を訪れ、南に富士山、東は秩父連山、西は南アルプス連峰、 北に八ヶ岳といった景勝の地であることから、たいへん気に入り、この地を選びました。

1938(昭和 13 年)年に完成した新しいキャンプ場の名前は、聖書の聖句からつける、周囲の山の名前にする等いろいろな提案がありました。

その命名を依頼された、当時の立教大学チャペル付司祭であった高松司祭が、新しいキャンプ場のある敷地が当時の清里村と大泉村にまたがっていることから、両方の地名の頭文字から一文字ずつとって「清泉寮」としてはどうかと提案。

ー文字ずつ取っただけではと不満げだった博士は、その英語訳が「ピュア=スプリング」(清らかな泉がわき出でる清泉寮キャンプ場)であることを聞くと、大いに喜んでその命名に賛成したと言われています。

天女山秋惜しみつつハイキング 一梲



天女山頂上



牧場への急登

「懐かしの映画を観る会」 鑑賞録 No.32

代表 佐藤

2019 年度第8回 鑑賞会

〈鑑賞日:2019.7.22〉

男はつらいよ寅次郎と殿様

制 作: 1997年 松竹 上映時間:99分

原 作: 山田洋次 監督: 山田洋次

音 楽: 山本直純 撮影: 高羽哲夫

出演者: 渥美清(車寅次郎)、倍賞千恵子(さくら)、真野響子(堤鞠子)、嵐寛寿郎(殿様)

三木のり平(執事)



【あらすじ】

久々、故郷の葛飾柴又に帰ってきた寅さん。また してもとらやの面々と衝突、あわただしく旅に出 る。愛媛県大洲。同宿の若い女性を気遣い励ます 寅さん。たった1枚しかない500円札を風に飛 ばされ、寅さんはそれを拾った奇妙な老人に招か れる。老人は伊予五万石大洲藩の十六代当主で世 が世ならば殿様になる人。寅さんは殿様から亡く なった末息子の嫁、鞠子の捜索を頼まれる。

上京してとらやにやって来た殿様は、寅さんに捜 索を念押しする。翌日から寅さんは鞠子探しに奔 走するがたった一日で断念。逃げ出そうとした矢

先に、大洲で親切にした若い女性がとらやを訪ね てくる。話しているうち、この女性こそ殿様が探 していた鞠子であることが判明し、早速殿様に連 絡。殿様は鞠子を一目見て寅さんに感謝する。 やがて、大洲から殿様の手紙が来る。殿様は寅さ んへの感謝と、鞠子と寅さんが大洲に来て結婚す ることを望んでいるらしい。すっかりその気にな

笑って泣かせる人情喜劇。今回は浮世離れした殿 様と寅さんとの掛け合いが絶妙。

った寅さんに鞠子が告げたことは・・・。

【解 説】

■ポイント

●シリーズ第 19 作

・ロケ地:愛媛県大洲市、松山市

マドンナ: 真野響子

• ゲスト: 嵐寛寿郎、三木のり平

●嵐寛寿郎(1902年~1980年)

戦前・戦後に活躍した時代劇の大スター。 鞍馬天 狗が当たり役でアラカンの愛称で親しまれた。本 作は、嵐寛寿郎のゲスト出演で、男はつらいよシ リーズでは珍しく時代劇調の展開となった。

●大洲藩

- ・現 在の愛媛県大洲市を中心とした藩。藩庁は 大洲城。支藩として新谷藩があった。
- 藩主 藤堂家・1代(?~1608年) 脇坂家・2代(1608年~1617年):外様・ 5万3千石

加藤家•13代(1617年~1871年):外様• 6万石

■見どころ

●殿様と鞠子の関係:山田洋次が敬愛する小津安二郎の名作「東京物語」の笠智衆と原節子の関係と同じ。 (父親と亡くなった末の息子の嫁。 血のつながらない親子)



2019年度第9回 鑑賞会

〈鑑賞日:2019.8.8〉

大いなる西部

制 作: 1958年 米 上映時間: 166分

監督: ウィリアム・ワイラー 音楽: ジェローム・モロス

出演者: グレゴリー・ペック(ジム・マッケー)、チャールトン・ヘストン(スティーブ・リ

ーチ)、ジーン・シモンズ(ジュリー・マラゴン)、キャロル・ベイカー(パット・テ

リル)、バール・アイヴス(ルーファス・ヘネシー)



【あらすじ】

ジム・マッケーはパット・テリルと結婚するため遥か東部から西部にやって来た。出迎えたテリル家の牧童頭スティーブは屈強な西部男でパットにほのかな愛情を寄せている。テリル家はヘネシー家とともに町を二分する大牧場を営んでいる。パットにはジュリーという教師の女友達がおり、ジュリーは祖父からビッグ・マディーと呼ばれる水場を相続している。

ジムは到着早々へネシー家から手痛い洗礼を受け、 テリル家は報復にヘネシー家を襲撃する。ジムとパットの結婚式、今度はヘネシー家の家長のルーファ スが侵入する。止まらない負の連鎖。テリル家とへ ネシー家の存亡をかけた争い。焦点はどちらがビッグ・マディーを手に入れるかだと判断したジムはジュリーにビッグ・マディーの売買を依頼、ジュリーはテリル、ヘネシー両者にも水を使わせることを条件にジムに売却する。東部流の考えを受容れてもらえないジムはスティーブと決闘し、テリル家を出る。ヘネシー家に拉致されたジュリーを丸腰で救援に向かうジム。テリル家とヘネシー家の対立の結末は?ジムはジュリーを無事救出できるのか?見所満載。巨匠ウィリアム・ワイラーと G・ペックの「ローマの休日」コンビが綴る異色の西部劇。

【解 説】

■ポイント

- ●西部劇の描く時代と舞台
 - ・時代: 19世紀後半の西部開拓時代を描くものが多い。特に多いのが南北戦争(1860年~1865年)後の1860年代~1880年代日本でいえば、幕末維新から明治前期あたり
 - 舞台:アメリカ西部の広範囲(南部ニテキサス、北部山岳地帯ニコロラド、ネヴァダ西部ニカリフォルニア)
- ●東部対西部(当時、東部人と西部人との間にあった深い溝)、東部(ジム=G・ペック): 文明、知力、西部(スティーブ=C・ヘストン): 未開、腕力
- ●受賞(1959年第31回アカデミー賞受賞)助演男優賞:バール・アイヴス



■見どころ

- ●単発銃を使用する決闘シーン
- ●ジェローム・モロス作曲のテーマ曲は CM や TV でも度々使われる軽快にして雄大な名曲

2019 年度第 10 回 鑑賞会

〈鑑賞日:2019.8.26〉

ひまわり

制 作: 1970年 伊 上映時間: 107分

監督: ヴィトリオ・デ・シーカ

音 楽: ヘンリー・マンシーニ

撮 影: ジュゼッペ・ロトゥンノ

出演者: マルチェロ・マストロヤンニ (アントニオ・ガルビアーティ)、ソフィア・ローレン

(ジョバンナ)、リュドミラ・サベーリエフ(マーシャ)



【あらすじ】

第2次大戦下のイタリア、ナポリ。アフリカ戦線に 向かうアントニオはナポリ娘のジョバンナに恋をし て二人は結婚する。アントニオは狂人を装い兵役を 逃れようとするがばれて懲罰でロシア戦線に送られ る。そこは飢えと寒さの地獄であった。

戦後、ミラノ駅。ロシア戦線からの帰還兵を迎える 人々の中にジョバンナの姿があった。時は流れ、戻 らぬ夫を探し求めてソ連に赴くジョバンナ。言葉も わからぬ異国の地で苦労した挙句見つけた夫は知ら ない女と新しい生活を送っていた。号泣し、落胆するジョバンナは自らも新しい生活を始める。アントニオも突然のジョバンナの出現に心を動かされ久々の里帰りを決意する。約束のプレゼントである毛皮を手にアントニオはジョバンナのもとを訪れるが・・・

画面を覆いつくすひまわりの花、甘く切ないテーマ 曲、名優たちの演技、大人のラブ・ストーリーの極 めつけ。変わらぬ愛と現実の生活との相克。

【解 説】

■ポイント

- ●イタリア映画を代表する組合せ(デ・シーカ、マストロヤン二、ローレン)、「昨日・今日・明日」 (1963年)、「ああ結婚」(1964年)
- ●戦争で死んだ犠牲者と戦争で生き残った犠牲者 一面のひまわりの下に埋葬された戦死者へのレ クイエムと生き残った犠牲者、不戦の誓い

■見どころ

●駅頭での三度の別れ

1回目:ミラノ駅で戦地に赴くアントニオを見送るジョバンナ

2回目:ロシアでアントニオの新しい生活を知り泣き崩れるジョバンナ

3回目:再びミラノ駅で断腸の思いでアントニオと別れるジョバンナ

●ヘンリー・マンシー二のテーマソングは名曲中の名曲 目を閉じると一面のひまわり畑が見えてくる 情感たっぷりの名曲シーンによりアレンジを変えて流れるテーマ曲

2019 年度第 11 回 鑑賞会

〈鑑賞日:2019.9.9〉

コーラスライン

制 作: 1985年 米 上映時間: 118分

監 督: リチャード・アッテンボロー

音 楽: エドワード・クレバン(作詞)・マーヴィン・ハムリッシュ(作曲)

撮 影: ロニー・テイラー

出演者: マイケル・ダグラス(ザック)、アリソン・リード(キャシー)、テレンス・マン

(ラリー)、グレッグ・バージ(リッチー)

【あらすじ】

ブロードウェイのオーディション会場。スター演出家のザックは次に予定している舞台のメンバーを決めるオーディションに臨んでいた。そこに現れたのがザックの元恋人で人気ダンサーであったキャシー。何百人もいた参加者がみるみるうちに絞り込まれ16人になる。

厳しい審査を勝ち抜いた 16 人に対し「君たちが どんな人間なのか知りたい」と語るザック。ザッ クのリクエストに応じて、1 人 1 人の人物像が明 かされていく。それぞれ違う生まれ育ち考え方。 共通するのはダンスに対する情熱だけ。仕事がな いキャシーはザックにオーディションを受けさせ てほしいと懇願する。16 人にキャシーを加えた 17 人が踊る「ONE」。最終的に選ばれた8人の メンバーは。

夢を追い求める若者たちの情熱と野心。アメリカのショービジネスを底辺で支える若者たちの熱気と熱意。

【解 説】

■ポイント

●ブロードウェイのヒットミュージカルの映画化、初演:1975年、原案・振付・演出:マイケル・ベネット、音楽:マーヴィン・ハムリッシュ、その他:トニー賞受賞(1976年)ブロードウェイの最長ロングラン記録を塗り替える

- ●音楽は映画でも舞台の担当のハムリッシュが担当、 新曲は2曲
- ●メインテーマ曲:誰でも耳にしたことがある軽快な「ONE」
- コーラスラインとは舞台上に引かれるライン メインキャストと無名役者とを隔てる象徴とされる

■見どころ

- ●アメリカのショービジネスの厳しさショービジネスの本場アメリカの厳しい実態NHK の連ドラのヒロインもこのように決められているのか?
- ●勝ち抜いた 16 人の誰にあなたは感情移入できますか?



2019 年度第 12 回 鑑賞会

〈鑑賞日:2019.9.23〉

おとうと

制作: 1960年 大映 上映時間: 93分

原 作: 幸田文 脚 本: 水木洋子

監督:市川崑

音 楽: 芥川也寸志 撮影: 宮川一夫

出演者: 岸惠子(げん)、川口浩(碧郎)、田中絹代(母)、森雅之(父)



【あらすじ】

主人公のげんの家族は4人。げんは長女で女学校の3年生。父は名の知れた小説家、母はクリスチャンの後妻で手足がリューマチのため不自由。弟の碧郎は学生で不良仲間と付き合いがある。姉弟はよく喧嘩をするが仲良しである。げんは病気がちの義母に代わり一家の家事全般を取り仕切っている。

ある日、碧郎は万引きで補導され退学処分となる。 転校先の学校でも生活態度を改めない碧郎はビ リヤード、ボート遊びと遊興三昧で、そのつけが げんに回ってくる。いらいら感が募るげんは碧郎 と取っ組み合いの大喧嘩をする。

不健全な生活を続ける碧郎はやがて当時は不治の 病であった結核を発症する。今のうちにげんと写 真を撮っておきたいという碧郎であるが、結核は 確実に碧郎の寿命を奪っていく。執筆に多忙な父 や足の不自由な母も見舞いに駆けつけて、ばらば らであった家族に初めて一体感が生まれる。そし て碧郎にも素直な感情が芽生えてくるが・・・。 幸田文の自伝的同名小説の映画化。キネマ旬報第 1位にしてリメイク版も作られた名作。

【解 説】

■ポイント

- ●幸田文(1904年~1990年)
 - ・明治の文豪、幸田露伴の次女として東京に生まれる。
 - 5歳で母、8歳で姉、22歳で弟を失う。
 - ・父から文章に関する英才教育を受け、戦時中は 父の面倒をみる。
 - ・1947 年、露伴死亡後に作家活動に入る。 代表作:「父こんなこと」(1949 年)、「流れる」 「おとうと」(1956 年)、娘の青木玉も文筆業
- ●姉と弟:普通の姉弟とは少し違う姉弟の関係。母親代わり:実母は死亡して、義母は病気がち、恋人代わり:弟にとって自慢の姉、憧れの存在。
- ●リメイク版
 - 1976年版:監督・山根成之、主演・浅茅陽子
 - 2009 年版: 監督·山田洋次、主演·吉永小百合

■見どころ

●弟の死に直面してようやくまとまる家族。家族再生の物語

2019 年度第 13 回 鑑賞会

〈鑑賞日:2019.10.14〉

日の名残り

制 作: 1993年 英•米 上映時間: 134分

原 作: カズオ・イシグロ

監督: ジェームズ・アイヴォリー

出演者: アンソニー・ホプキンス(ジェームズ・スティーブンス)、エマ・トンプソン(ミス・

ケイトン)、ジェームズ・フォックス (ダーリントン卿)、クリストファー・リーヴ

(ルイス)

【あらすじ】

1956年イギリス。ジェームズ・スティーブンスのもとに届いたケイトンからの手紙。スティーブンスはかつて英国貴族ダーリントン卿の執事でケイトンはメイド頭であった。スティーブンスは久々、ケイトンに会うため旅に出かける。

1935年、第2次世界大戦前夜。ケイトンはダーリントン卿に雇われ二人は同じ職場で働くようになる。スティーブンスは有能な執事で主人からの信任も厚く厳格な性格の持ち主である。そんな、スティーブンスに最初は馴染めなかったケイトンであるが、彼の実直な仕事ぶりに徐々に好意を持つようになる。ある日、ダーリントンホールに各国の首脳が集まり今後の世界情勢について議論する国際会議が開かれる。会議は親ナチス派の

ダーリントン卿の考えが反映され、アメリカ人のルイス以外はドイツに対して寛大な意見が支配した。いつしかケイトンはスティーブンスにとってなくてはならない存在となる。ある晩、ケイトンは旧友のベンからプロポーズされたことをスティーブンスに話し意見を求める。しかし、スティーブンスの意見はケイトンを落胆させるものであり、ケイトンはスティーブンスの許を去ることになる。

20年ぶりに会ったケイトンがスティーブンスに語ったことは・・・。

日本生まれのノーベル賞作家、カズオ・イシグロの同名小説の映画化。

【解 説】

■ポイント

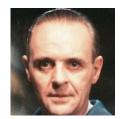
- ●イギリスの階級社会と執事
 - イギリスは典型的な階級社会で、国王を頂点と し、その次に貴族が存在する。
 - イギリスでは家事使用人にも階級が存在し、その最上位にいるのが執事。
 - ・ 執事は主人を代行して使用人全員を統括していた。また、執事は主人の身の回りの世話や秘書として主人に仕えた。
- ●原作者:カズオ・イシグロ(1954年~)
 - 長崎で生まれ、父の転勤でイギリスにわたる。 (1960年)

- 1989年に「日の名残り」を発表、2017年 にノーベル文学賞を受賞
- ●主演:アンソニー・ホプキンス
 - ・1937年:イギリス、ウェールズ生まれ
 - 1991年:「羊たちの沈黙」でアカデミー賞主 演男優賞を受賞
 - 1993年:本作でゴールデン・グローブ賞主演 男優賞にノミネート

「羊たちの沈黙」のレクター博士が当たり役で あるが、本人はベジタリアン

■見どころ

- ●伝統社会イギリスの貴族社会の主人と執事の関係
- ●ラストシーン:スティーブンスとケイトンの別れのシーン



「浮雲俳句会」

抄録 No.47

代表 北野 清市

131 回例会 令和元年7月28日

〔 秀作 〕

天賞

七島を夏霧隠す石廊崎

とも女

大景を遮る自然現象を巧みに捉えた秀吟。石廊崎からいつもよく見える伊豆七島も夏霧に隠されて見えない。見晴らしのよい時を連想しながら読んだもの。石廊崎は、高さ百米の台地を黒潮に洗われる大絶壁。三方が断崖で前方は洋々たる太平洋。この眺望も残念ながら「夏霧が隠して」いるのだ。

地賞

夏潮を翔けゆく白帆鳥のごと 和 女

夏潮の爽快さが一杯漲っている秀逸。鳥浜のマリーナを出航したヨットが、「夏潮を翔けていく」まさに鳥のように爽快だ。暑い夏は、ヨットで白帆を靡かせ海原を翔けてゆくときが最高である。

人賞

石廊崎夏の星空輝けり

三旦

眼

多分雨上がりの一点の雲もない"夏の星空"。天二満天の星空。地二広大な海原。この満天の星のもと広々と続く海原の景は、終世忘れがたい大景であろう。輝くように素晴らしい!!

特選

炎天下飽きぬ荒磯廻石廊崎 国

伊豆半島最南端、太平洋に突き出た石廊崎。岩礁洗う土用波も、今の時刻は穏やかで優しい。炎天下、 子供達は網を片手に、時の立つのも忘れ、あっちこっち、荒磯廻りに余念がない。

叫んでも君の名砕かむ土用波 春 駒

部活帰りの高校生が、思いのたけを押し寄せる大波の土用波にぶつけている様を詠みました。恋心が 芽生えてもどうすることも出来ないもどかしさを、大波に叫びます。どんなに叫んでも大波がすべて砕いてしまい、やり切れなさと胸の内を大波に預けた爽快感とが入り混じった青春のワンシーンです。

寝る稚児にやさしき風の団扇かな 重 九

最近、親が子を虐待して事件になった報道が増えており、心が痛みます。また、動物たちの人間にも 劣らぬ子育ての様子がドキュメンタリーで放送されています。親が子供の成長を願い愛情を持って育て れば必ず思いやりのあるやさしい子に育ちます。遊び疲れて寝ている稚児にとり、母親の団扇によるや さしい風はやさしい心を伝えています。平凡な家庭のひと時が大切です。

穂高下り店先水に青林檎 あきえ

私にとっての憧れの山、奥穂高岳を目指した時のことです。8月上旬天候にも恵まれ、上高地から涸沢、ザイテングラード、奥穂高と一歩一歩踏みしめて登り、無事明神まで下りて来た時、店先の青林檎が目につきました。冷たい水に浮かんだ新鮮な薄緑の一個を手にし一気に緊張がほぐれました。その時の達成感と季節の移ろいを句に込めました。

ゆかりの地瀬戸は日暮れてナイターに 一 馬

今年のプロ野球、セ・パ交流戦。6月18日(火)阪神・楽天戦は倉敷市で行われました。倉敷は故星野仙一監督の出身地、星野監督は2003年(平成15年)に阪神を、また2013年(平成25年)には楽天を夫々リーグ優勝に導きました。その意味で両チームの試合をマスカットスタジアムへ持ってきたのは有意義でした。当日のテレビ放送では「瀬戸の花嫁」のメロディーがBGMで流れていたのを思い出しますが試合結果については一向に思い出すことが出来ません。

132 回例会 令和元年 8 月 25 日

[秀作]

天賞

余命想ふ日々の幸せ原爆忌

十九

余命を想ふ年令と原爆忌の取り合わせが抜群。人間も80才を超えるころからときどき自分の余命を 反省。どうだろう、ああだろうといろんな想いに耽るものだ。特に広島や長崎の原爆忌の頃になると格 別。原爆忌と自分の日々の幸せな生活を想い複雑な心理状態に苛まれるものだ。

地賞

広島忌母と逃げし日吾の手今あきえ

原爆忌の体験を見事に表現した秀作。作者は昭和20年8月6日の広島の原爆を直接経験したのである。母に手を取ってもらい、あの爆風の中を逃げ出したのである。特に下5の「吾の手今」と当時と現在の対比に感銘を受けるのである。

人賞

秋入り日まるき地球の潮岬

勇 平

地球の丸いことを改めて実感した佳句。太陽は、秋分の日以降南半球に行き、日の暮が急に早くなる。 また秋の入り日を感ずるころは、からっと晴れ、物音がよく聞こえる。空気も乾き暮れやすい。それだ けに「まるい地球」も岬など見晴らしの良いところに立つと、一層丸さを感じるものだ。広々とした大 海があればこそ「まるい地球」を観取することが出来るのである。

特選

背に熊野潮岬や野分だつ

春駒

潮岬のある紀伊半島を俯瞰で見てみました。神秘的な熊野の山々から、神々が一気に風に乗って荒々しい太平洋に抜けるような壮大な句が作れたらと思い出来上がったのがこの句です。岬はどこでも断崖に打ち寄せる絶壁は同じような景色ですが、熊野の北東には伊勢があります。出雲に並ぶこの地は神聖な空気が感じられ、また伊勢にも、いつかは熊野古道も堪能したいと思っています。

ひもすがら秋潮響動む潮岬

とも女

潮岬は、紀伊半島の最南端に位置しており、砂州で繋がった陸繋島である。望楼の芝生からは、広大な太平洋の大海原と、海蝕された岩場を眺めることができる。水平線を見ていると、地球の丸いことが一目瞭然である。奇岩の間をうねりよせる白波が叩きつける光景は見飽きない。まさに絶景である。岬には、3万坪の芝生があり、昔、友達と寝ころんだ時の快感が甦ってくる。

踊待つ赤き鼻緒の音軽く

和女

以前は、盂蘭盆に精霊を迎え慰めるために音頭や歌謡に合わせ踊りがあったのでしょう。昨今は、地域の交流の場として、盆踊りが行われていることも多くなりました。夕暮れ時、いつもと違う雰囲気の中で浴衣姿の大人も子供も心なしか足取りが軽く感じられました。

天に星地に秋の花人に愛

祥 代

満天にはこぼれるような星が瞬き、地には今の季節でしたら秋の草花が咲き乱れ、そして人には愛というか慈愛があれば、この地球の生きとしていけるものすべてに平安が訪れるのではなかろうかという願望を詠んで見ました。

迎へ火や祖霊わんさか父も母も 国 眼

盂蘭盆の初日の夕方、家内と門前で準備が始まります。胡瓜の精霊馬と茄子の精霊牛を玄関前に置き、向きを門先の方に。そして、苧殻(おがら)を炊きます。迷わないでとの道案内の目印です。そして、掌を合わせ、ご先祖様の精霊をお迎えします。いつも見守って頂いてありがとうございます。どうぞゆっくりしていってください。最後尾に父と母も。

133 回例会 令和元年 9 月 29 日

[秀作]

天賞

秋の海椰子の旅路の室戸岬

国 眼

黒潮に乗り南から椰子の実が流れ着く様子を見事描写した秀逸。思い出すと昔、小学生のころ"椰子の実一つ"という民話を教わった事を覚えている。ドンブラコ・どんぶらこと遥か南方から黒潮に乗って日本の室戸岬に辿り着いたのである。その黒潮での旅路を思うたび感無量。

地賞

室戸岬無辺の海の月今宵

十九

室戸の岬の沖合果てしない大海原に中秋の名月が輝きわたっている模様を写生した秀句。無辺(むへん)の海は果てしない大海である。中秋の名月を室戸岬で観ることが出来たことは、俳人の至福の至りである。さぞ興奮したことであろう。特に無辺の海という表現がいろんな事を連想させてくれる。

人賞

漱石と惜別の句や獺祭忌

祥 代

9月19日は正岡子規の忌日。勿論子規は近代俳句の創始者である。日清戦争に従軍記者として赴き、病を得て帰国の船中で喀血。松山に帰ってからは、夏目漱石の下宿に2か月近くころがりこみ、漱石との別れを詠んだ惜別の句「行く我にとどまる汝に秋二つ子規」と東と西の二つの秋が歴然たる事実として物語っている。

特選

雄鶏はかくあるべしや若冲忌

重九

若冲は江戸中期に活躍した絵師で鶏の絵を得意とし、非常に多く描かれている。なかんずく雄鶏(おんどり)の絵が多い。雌鳥より一回り体型が大きく、肉厚の赤い鶏冠(とさか)をピンと立て、胸を張って闊歩する姿、雄鶏どうしで闘う姿、大きな声で鳴く姿はたくましい。雌鳥に対するアピールは申し分ない。

少し人間社会とは違って面白い。

秋祭鎮守の杜の華やぎて

和女

この季節、信濃路を巡ると、たわわに実るリンゴやぶどう、栗、黄金色の稲穂が揺れる田の風景が広がる。秋がまるごと迫って来る。稲刈りが終わり、畑の収穫も一段落すると、里は和やかな雰囲気に。 天からの実りを供えて、氏神様に感謝する秋祭。都会の中では、出合うことが少なくなったが、各地には、伝統の行事が受け継がれている。人々の心地よい騒めきが鎮守の杜を包む。

空中を動かぬ蜻蛉子らの目も

とも女

初秋の忘れられない風景の一齣である。旅の途中、野道を歩いていた時、捕虫網を持った了~8歳の 少年二人に出会った。蜻蛉を捕えようと、張り切っている元気な少年たちだった。蜻蛉の数はすくない が、時々すうっと飛んでくる。二人は、身構えて狙っていた。少年の目は、蜻蛉のようによく動ききら きら輝いていた。すると、いきなり目の前に、蜻蛉が現れた。蜻蛉は、飛び去らず、止まり木を探して いるようだった。空中で、羽を震わせながらとどまっていた。少年たちは、すぐ捕えるだろうと思いき や、蜻蛉の動作の不思議さに惹きつけられ、じっと見つめていた。わたしは、蜻蛉より好奇心の溢れて いる少年たちの顔の方が、見ていて楽しかった。秋の澄んだ空の下だった

酌み交わす友は彼方へ更待月

春駒

父も母も旅立ち、そこに実家があるのに誰もいないという現実が未だに実感できないでいる中、20年来の友人の家族より彼女の訃報を受けました。3歳年上の友人は慣れない職場で励ましてくれ、互いに酒豪と自慢し合い仕事の後のお酒を楽しみました。あまりにも急であまりにも若い。そして体調について何ひとつ聞かせてくれなかったことが残念でまた、久しく連絡を取っていなかったことが悔やまれました。後日ご家族の方から日本酒が送られてきました。互いに送り合った土産のひとつに地酒がありましたが、懐かしさと淋しさでいっぱいになりそれをいただきながら彼女の冥福を祈りました。

稲穂波田毎に違ふ色重ね

あきえ

車窓から稲田を見た時の句です。9月初旬新幹線で大阪に向かう途中、日本坂トンネルを過ぎると時々田園風景が目に入り、さすが「瑞穂の国」だと、広々とした田圃に心洗われる思いでした。よく見ると、稲穂が波打っており、区画ごとに微妙に違う色をしていました。稲の種類、実り加減の違いでしょうか。耕作者の思いも込められた豊かな色彩でした。



パソコン何でも相談室【20】 株洋

皆さんも普段の生活の中で知りたい事柄に出会 うと、パソコンやスマホのインターネット検索を利用 されていると思います。インターネット上の膨大な 情報の中から自分の欲しい情報を的確に取り出す にはノウハウが必要です。今回はこのノウハウをお 伝えします。

1. Google Chrome を使う

インターネットを探し回るブラウザーには、 Microsoft の Internet Explore や Edge もあ りますが、Google Chrome が軽快でお勧めです。

2. 検索エンジンは Google

キーワード検索で自分の探したい事柄を的確に 探すには検索エンジンを選ぶ必要があります。 Yahoo! や Microsoft は、そののトップページで ニュースを読んだり、提供される話題を見るには適 していますが、検索に絞ると断然 Google です。

3. キーワードは具体的に

調べたい事柄の「キーワード」をできるだけ具体 的に入力します。例えばエクセルで折れ線グラフの 書き方を知りたいときは、「エクセル 折れ線グラフ」 と入力します。

更に、キーワードを追加して事柄を絞り込むことができます。線グラフの色の付け方を調べるなら「色」を追加して、「エクセル 折れ線グラフ 色」で検索します。

4. 特定のキーワードを含まない内容を検索する (NOT 検索)

複数のキーワードを並べて検索するとき特定の キーワードの前に「-」を付けるとそのキーワードを 含むサイトを除外できます。例えば、「ゴーヤ料理 -ゴーヤチャンプルー」で検索すると ゴーヤチャン プルー以外のゴーヤ料理が検索できるのです。

5. カテゴリー分け

「地球温暖化」だけで検索すると、約 36 百万件 ものサイトが表示されます。自分の知りたい情報を 得るためには、次のような語句を追加して絞り込む 方法があります。

概要を知りたいときは、「まとめ」、「分かりやすく」、「簡単に」、「初心者」などを追加すると初心者向けの情報を手に入れることができます。

専門的な情報が欲しい場合は、「メカニズム」、 「論文」、「統計」などを追加するとそれなりのしっか りした情報が手に入ります。

「Pdf」の文言を追加して「地球温暖化 Pdf」で検索すると、Pdf ファイルに整理された項目が出てきます。学術論文や行政文書に行き当たります。

人々の感想を聞きたいときは「ロコミ」、「体験談」、 「ブログ」などを追加します。

6. 「完全一致」検索

検索結果のページでキーワードに取り消し線が 引かれていた経験はありませんか?この時は検索 エンジンがそのキーワードを除いた文言で検索し ていることを示しています。検索キーワードを半角 の「"」で囲って検索するとあなたの思い通りのキー ワードを含むサイトが見つかります。「"箱根駅伝の コース"」で検索した場合と「箱根駅伝のコース」で 検索した場合を比較してみましょう。

7. 検索の領域分け

Google Chrome では、検索内容を「地図」、



「ニュース」、「動画」、「画像」などに区分する機能があります。

「箱根駅伝のコース」で検索して、「地図」をクリックすると Google マップへ飛んで箱根駅伝に関係する地点が表示されます。

「動画」や「画像」をクリックすると YouTube 動画や画像のみが表示され、「ニュース」をクリックすると関連のニュースサイトを見ることができます。

YouTubeで動画を探すときは、YouTubeサイトへ行かずに「曲名」や「歌手名」で検索して、「動画」を選択すると目的とする曲の YouTube 動画を見つけることができます。

「なんとかの犬」で検索すると「パブロフの犬」に 関係する情報が表示され、「なんとかの猫」で検索 すると「シュレーディンガーの猫」が出てきます。

11. 連想するキーワードを入れてみる

固有名詞を忘れてしまったときは、思い当たるキーワードでとりあえず検索してみましょう。その固有名詞に関連しそうな文言を全部入れて検索してみると出てきます。

例えば、「アコースティックギター ギタリスト」で 検索すると有名ギタリストの顔写真と名前が表示さ れ、目的のギタリストを見つけることができます。



花の栽培法を探すときは「花の名前 栽培法」で 検索して「画像」を選択するとその花の写真が沢山 表示されます。どれかの花の写真をクリックしてそ のサイトを開くと栽培法が表示されます。

8. 意味を調べたい場合に使える検索方法

検索キーワードの後ろに「~とは」を追加することで、意味が分からない言葉を調べることができます。「整体ヨガとは」と検索すると「整体ヨガ」という言葉の意味と「整体」と「ヨガ」の違いを調べることができます。

9. 目的地への経路を調べる方法

「A から B」と入力することで目的地への経路を調べることができます。例えば、「金沢文庫駅から富士山」と入力して、「地図」を選択すると Googleマップが開いて経路検索が行えます。また、「すべて」を選択すると金沢文庫から富士山への乗り換え案内のサイトで電車の時刻・乗換経路を調べることができます。

10. 「なんとか」検索

正確な表現を忘れても「なんとかの A」と入力して検索するとキーワード「A」に関連する情報を教えてくれます。

12. 「用語集」を探す

なんて単語だったのかも思い出せないし、特徴 もうろ覚えのお手上げ状態。もはや何も分からない けど、字面を見たらきっと思い出せるはず・・・!

そんなときには、その分野の「用語集」を検索して 片っ端からチェックします。「用語集」の他に、「一覧」 「ランキング」などでもキーワードを思い出せるかも しれません。

例えば、仏像の名前が思い出せないときは、「用 語集 仏像」で検索して「仏教用語集」を開いて読み 込めば仏像の名前に当たるかもしれません。

13. 検索の深掘り

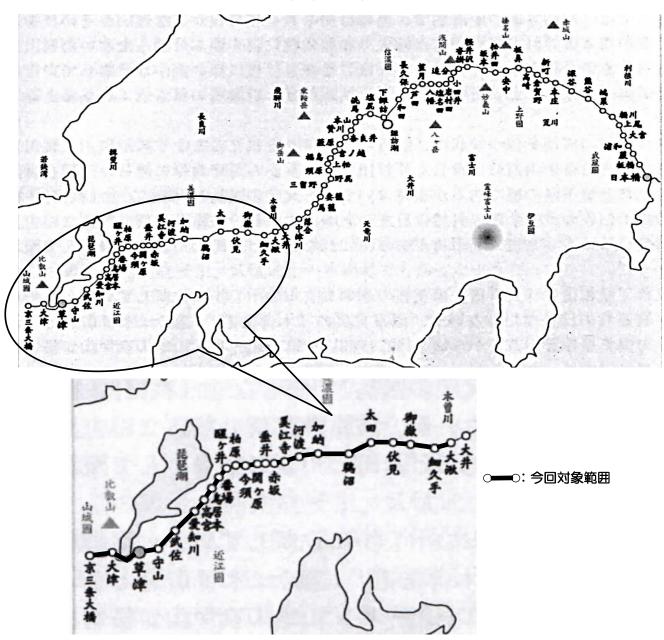
一回の検索で目的の情報に行き当たるのは難しいものです。まず検索結果のページに表示される3,4行の説明文を読んで役に立ちそうなサイトを選択します。次にそのサイトを読み込んで検索目的に合致する説明を探します。そのサイトで得た情報から適切な検索文言を抽出してその文言で再度検索します。この繰り返しで探します。

江戸時代の五街道を歩く(8)

古文書を読む会 代表 真田 雅行

中山道六十九次紀行

(4/4)



10. 大湫宿一細久手宿一御嶽宿一伏見宿一太田宿一鵜沼宿—加納宿(58km)

東に十三峠、西に琵琶峠を控えた大湫宿には、泊る場所も食堂もない。

宿の象徴神明神社や観音堂を過ぎ、宿を抜け、やがて「ほろ岩」・「えぼし岩」という二つの巨岩に出くわした。安藤広重が画き、大田南畝(蜀山人)が『壬戌紀行』にこの岩を書いた。

ここから美濃路では最も高い「琵琶峠」(540m) に入る。全長600mもの石畳は長さ日本一で、不揃いに敷き詰められた石の大きさ(2mのものあり)と400年前の古さに驚く。

頂上に和宮の「住み馴れし都路出でてけふいくひ いそぐともつらき東へのたび」 の歌碑があり、石畳の下りに権現山一里塚や幾つもの古寂びた観音が昔のまま静かに 佇んでいた。

「細久手宿」では何といっても旅籠の「大黒屋」だ。過疎地のため次々と廃業していく中で、今も唯一営業していて泊る場所はここしかない。大黒屋は尾張藩指定の本陣でもあって、140年前の古色蒼然とした外観・卯建をあげた屋根・上段の間・箱階段等、こんなに古い旅籠はもう他では見られないが、さすがに中の一部は補強のため工事中だった。

夕食で山中の田舎料理と地酒を賞味しながら、15代目のおかみから、ありし日の宿の様子などを聞いた。大井宿〜細久手宿間20kmの宿泊施設はここのみである。

幾つも続く峠の最後は「牛の鼻かけ坂」、あまりの急坂に牛が鼻をこするというほどきつい坂道をようやく越えて平地を行くと、何と「和泉式部の墓」に出くわした。 平安時代のこの恋多き歌人は、東山道の旅の途上で病に倒れ、ここで没したという。

次の「御嶽宿」は蟹薬師で有名な「願興寺」の門前町宿場で、平安時代開創の古い 伽藍と広い境内、24体もの国重文の仏像などに時の流れを感じる。

4 km先の「伏見宿」は国道沿いで交通量が多い。

近くに迫る木曽川の物資輸送の商業地として元禄時代に新設された宿だが、公民館前の本陣跡碑以外に宿の遺構はほとんどない。

数キロ歩いて木曽川に出た。手前に「今渡の渡し場」跡があり、中山道には珍しく 当時は舟で渡った。対岸が美濃加茂市の「太田宿」で、太田橋を渡ると「日本ライン 下り」の乗船場、100m下流に「太田の渡し場」の跡があり、石畳だけが残ってい た。

さて今晩の宿探しに、市役所でもらったパンフレットを見て、偶然出くわしたのが 岩風呂のある民宿で、清潔な内部と部屋・豊かな食事・岩風呂とジャグジー・それに 低料金はこれまでの民宿中のナンバー・ワン、これで旅の疲れも吹き飛んだ。

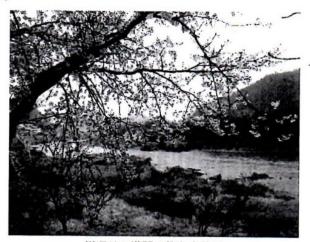
太田宿では祐泉寺に入る。ここには芭蕉・北原白秋・明治期の近代日本文学の嚆矢 「坪内逍遥」を始めとする幾つもの歌碑がある。坪内逍遥がここ太田の出身とは初め て知った。本陣跡に今残るのは門のみだが、重厚で風格がある。傑作は林家の脇本陣 で、当時のまま残っていて卯建が印象的だ。

承久の乱の局地戦があったとされる 「芳春院」を過ぎるとすぐに木曽川の堤 防に出た。小雨に煙る木曽川と重層する 美濃の山々の風景はまた格別である。

この辺の木曽川は意外に流れが早く、 あちこちで白波が立っていた。

川べりの満開の桜と木曽川の風景は一服 の絵のようだ。

数キロで「うとう峠」の石畳の山道となり、深い緑と静かさが心に染みとおる。



川辺りの満開の桜と木曽川

頂上一帯は「日本ライン鵜沼の森」としてよく整備され、木曽川・犬山城・濃尾平野の好展望地だが、残念ながら霧雨で見えなかった。

ここから先の中山道はずっと舗装されているので、土の道はなくなる。

坂を下ると「鵜沼宿」、だが明治24年の濃尾大地震のため、宿らしい面影は残っていない。

わずかに坂井家の脇本陣跡にある夥しい芭蕉の句碑が名残りをとどめるのみである。

ここから先は主に国道21号を進み、降り続く雨中を黙々と17kmも歩いてようやく 「加納宿」に着いた。

11. 加納宿-河渡宿-美江寺宿-赤坂宿-垂井宿-関ケ原宿-今須宿 (37km)

「加納宿」は金華山に聳える岐阜城が関が原の戦いののち廃城となった後、市内の平地に築かれた加納城の城下町として美濃十六宿中最大の宿場だったが、現在は城跡に石垣が残るだけで、江戸時代を偲ぶものはないので、寄り道して、斉藤道三や織田信長ゆかりの金華山山頂の復元された「岐阜城」、麓の信長居館跡、織田家菩提寺の崇福寺、道三の菩提寺の常在寺などの戦国時代の遺跡をめぐった。

加納宿を西進して、由緒ありげな「鏡島弘法」(乙津寺)を過ぎると長良川に出る。現在も小舟で対岸に渡れる「小紅の渡し」を右に見ながら河渡橋を渡りきると、すぐ小さな「河渡宿」に入るが、馬頭観音の「愛染堂」以外に往時の面影はなく、次の「美江寺宿」へと急ぐ。

この辺一帯は昔から木曽川、長良川、揖斐川の氾濫が続いたため、観音堂を祀った ところ氾濫が収まり、ここが美しい江となったことから美江寺の名がついたといわれ るが、斉藤道三が岐阜市内にこの寺を移したため、今は寺名のみが残る。

揖斐川を越え、名産の富有柿畑が続く中を行き、やがて呂久集落の小簾紅園(和宮記念公園)に出た。当時はここが揖斐川の船着場だったという。

田園を走る幾筋もの新設道路と、旧中山道を見分けるのに苦労しながら数キロ歩き続け、やっとのことで「赤坂宿」に到着した。ここは大垣城の10km西北方に位置し、旧杭瀬川の河川交通の要衝であった。今は目立たないに川になり果てたが、かってはこの川を挟んで、関が原戦の東西両軍が滞陣したところとして興味が湧く。

石田三成挙兵の報を聞いた家康は、下野国・小山から引き返し、ここ赤坂の岡山に着陣した。この家康の着陣を西軍が全く知らなかったとは驚きだが、事前の切り崩し作戦で多数の内通者を出し、大将も戦場に来ないバラバラの西軍では、家康の勝利は、どうやらこの時点でほぼ決まったように見える。

城攻めは苦手だが野外戦が得意の家康が、西へ進軍したのにあわてた大垣城の石田 三成の西軍は、迂回して関が原の西側山間部に布陣した。

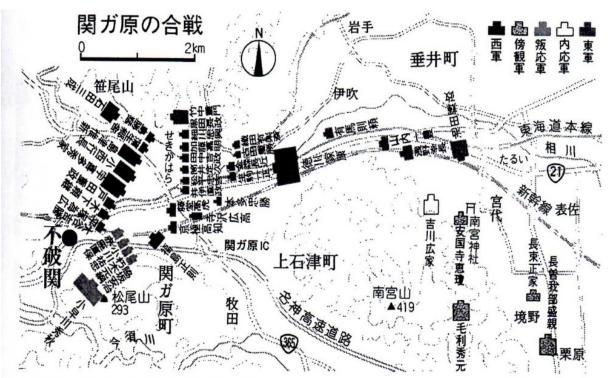
赤坂宿の本陣跡の近くに、戦後家康が上洛往還の際に休泊地用に建てた「お茶屋屋敷跡」があるが、勝利した彼はここで何を思ったであろうか、などと勝手な想像をしながら、小栗判官の照手姫が青墓の長者にこき使われて水を汲んだという照手姫井戸の傍を通り、広大な青野ケ原の田園地帯を抜けて、美濃路の追分の相川を渡ると「垂井宿」、ここでは江戸時代から唯一営業している旅籠屋「亀丸屋」に泊り、女主人西村さんから夕食をとりながら話を聞いた。子供が大垣に住み跡継がいないので、自分の代で旅籠は終りだと寂しそうだった。

翌朝は小雨、サービスのおにぎりをもらい、昔からの名水「垂井の泉」で喉を潤し、寄り道して、美濃国の総鎮守で全国の金属を司る「南宮大社」に参拝したが、背後の「南宮山」は煙っていた。

中山道はこの北麓を通って関が原に通じ、この山頂に西軍の毛利主力軍16千が陣取ったが、一族で家康に内通した吉川広家の作戦で動けず、麓の安国寺・長東・増田軍も模様眺めを決め込み、長宗我部軍も釘付けとなったため、家康はゆうゆう中山道を通り抜け、桃配山に本陣を進めたが、万一に備えて東軍の浅野幸長と山内一豊軍を沿道に配置して南宮山監視と押さえにあたらせた。

関が原宿手前の「野上」部落一帯に布陣したが、そこに家康最初の布陣跡がある。 間もなく「関が原宿」に入り、今日はここで宿泊し、翌日を古戦場巡りに充てた。 なお野上は、672年の壬申の乱で、吉野を出て東国へ向かった大海人皇子(後の天 武天皇)が行在所(本陣)を置き戦闘指揮した場所であるが、今は地名だけが残る。

さて翌朝、天下分け目の「関が原合戦」の戦場めぐりに入る。



東軍に寝返った小早川秀明軍の松尾山、福島正則陣地、家康最後の本陣と首実験跡、笹尾山の石田三成、同じく西軍の島津義弘、小西行長、宇喜多秀家、大谷吉継の陣跡と戦場を訪れたが、東軍7万5千、西軍10万といわれ、数と陣形上からは明らかに西軍有利で、午前中は西軍優勢だったが、小早川軍の寝返りで、大谷軍が側面をつかれて総崩れとなり大敗した。

わずかに最後に残った島津軍が、正面突破による退却戦で武勇をはせたのみで、折角信州上田で真田昌幸・幸村勢が、東軍別働隊の徳川秀忠軍3万8千を10日間釘付けにして、関が原合戦に間に合わさせなかったのに、それでも東軍の圧勝に終わった。

結局西軍の3分の2が動かず、3分の1の兵力では前半戦の善戦が精一杯だったのではないかと笹尾山前の最後の決戦地跡に佇みながら思わずにはいられなかった。

もう一つ、関が原は「壬申の乱」(672年)の古戦場でもあった。ちょうど大谷吉継軍が陣取った一帯を流れる「藤古川」を挟んで、大海人皇子軍と天智天皇の子の大友皇子(弘文天皇)軍が皇位継承を争った内乱で、ここで一大決戦が行われたという。

近くの井上神社が大海人軍の、川の反対側の若宮神社が大友軍の陣地だったといわれるが、東国の豪族を味方につけた大海人軍が勝ち、後に彼はここに「不破の関」を設けた。

関は藤古川の左岸、川に深く切れ込んだ渓谷の自然の要害の地に設置されたが、平 安時代初期に廃止。現在不破関資料館が作られ、出土品や資料が展示されていた。

しばらく行って、大友皇子の首が実験後ここに埋葬されたという小高い丘に登り、 遠い昔に思いをはせた。

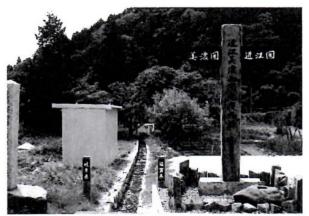
すぐ近くを東海道新幹線が突っ走る。関が原は今も昔も交通の要衝だ。 やがて美濃と近江の国境に位置する小さな「今須宿」を過ぎると、近江国に入る。

12. 柏原宿―醒ヶ井宿―番場宿―鳥居本宿―高宮宿―愛知川宿―武佐宿―守山 宿―草津宿(59km)

美濃国西端の今須宿から国境の細い溝をまたぐと近江国の「柏原宿」で、ここは伊吹山と養老山地の山麓にあり、1.4kmも続く長い山あいの宿場町である。

中山道はここからが湖東の穏やかな近 江路となる。ここから草津までは肥沃で 米もよく実り、麻や絹を織り、蒲生野な どで薬草も豊富に採れた。

有名な額田王の"あかねさす紫野行き 標野行き野守は見ずや君が袖振る"は、



美濃国と近江国の国境の溝

南の近江八幡近くの蒲生野で大海人皇子に送った和歌である。

さて柏原はお灸用の支の産地として名高く、安藤広重はこの支を売る店「亀屋」を 画いているが、ちょうど宿の途中に今もこの亀屋がそのまま残っていた。

次の「醒ヶ井宿」は鱒の養殖で有名だが、街道沿いに澄んだ水が流れ、「三水四石」といわれていて、特に加茂神社の入口の「居醒の清水」からは大量の水が湧き出し、透き通った清流が道端を行く旅人の心を清めてくれたことがよくわかる。

大昔東国遠征から立寄った「日本武尊」が、この水で熱病を癒したとの日本書紀の 記述を示すかのように、傍らに手を高々とさし上げた尊の像が立っている。このあた りはもう米原で、新幹線の往来が遠くに見通せる。

「番場宿」に入り「蓮華寺」に立寄る。ここには北條仲時ら430余名の墓がある。

元弘3年(1333)京都六波羅探題だった北條仲時は鎌倉幕府方から後醍醐天皇方に 寝返った足利尊氏に攻められ、鎌倉に逃れようとして北朝の天皇や上皇を連れて京か らここ番場まできたが、南朝方の土豪に遮られて、もはやこれまでと軍勢430余名と 共に自刃し、天皇や上皇は京へ連れ戻された。

本堂右手の茂みの石段を上ると、430余名の五輪塔がぎっしり並んでいた。

太平記に「都合四百三十二人同時ニ腹ヲゾ切リタリケル。血ハ其身ヲ浸シテアタカモ黄河ノ如ク也」とある。

ただ山門の前を名神高速道路が無神経に横切っているのは何とも無残である。

中山道はここ番場から摺針峠を越えて「鳥居本宿」に入る。

東国から来る人々はこの峠で初めて琵琶湖を見た。大名・公家・旅人達もここの「立場茶屋」(彦根藩が設けた茶屋本陣で望湖堂といった)に必ず立寄り、絶景を眺め休息して行ったという。

今は樹木が一部遮っているが、それでもはるかに琵琶湖や竹生島が望める。

峠を下ればすぐ鳥居本で、宿の東はずれには今も胃腸薬の「赤玉」を製造販売している「赤玉神教丸本舗」や油紙合羽の古い看板を掲げた店がある。

宿の南はずれの「右彦根道、左中山道京いせ」と刻まれた道標を過ぎ6km行けば「高宮宿」である。ここは宿場町と多賀大社の門前町として栄え、「高宮上布」と呼ばれた麻織物で名高い。すぐ彦根だが、中山道は彦根城下には入らない。

次の「愛知川宿」までは8km、途中に大手商社伊藤忠の生みの親・伊藤忠兵衛の生家跡を過ぎて宿に入り、昔は暴れ川で大河だった愛知川に架かる「むちんばし、はし銭いらず」の標柱がある無賃橋を過ぎれば、中山道は近江商人の発祥地「五個荘」へと続く。

この一帯は織田信長の安土の楽市楽座(営業・流通の自由化)以来の近江商人の伝統が残り、勤勉で商才にもたけていた。

寄り道して外村繁旧家屋敷や近江商人屋敷を訪れた後、更に寄り道して織田信長の「安土城址」を訪れ、数㎞歩いて「老蘇の森」を通り、児童が画いた旧道の道しるべを行くと「武佐宿」に着いたが、今日は約30㎞歩いて疲れたので、今も唯一営業している旅籠「中村屋」に飛び込みで泊めてもらった。

翌朝7時、次の「守山宿」まで14kmのスタート、途中「鏡」というところまで来ると、奥州へ落ちのびる少年牛若丸が、元服して源九郎義経と名乗ったという元服地と池があり、更に少し行った数m横の茂みに、壇ノ浦で敗れて鎌倉まで送られ、義経に京まで護送される途中のここ「篠原」で斬首された平家の総帥「平宗盛」親子の胴塚があった(首は京の鴨川原で晒された)。

従って平家が最後に滅びたのは壇ノ浦ではなく、ここ篠原である。

それにしても義経の元服地と宗盛が斬られた場所がほぼ同一地というのは偶然であろうか。この日のこの時刻はあいにくの雨で、靄に煙る宗盛の胴塚の前で義経と宗盛の胸中に思いを馳せた。

中山道はここから国道をはずれ、新幹線と東海道本線を横切り、銅鐸で名高い野洲 を通り「守山宿」に至る。古くから「東門院守山寺」の門前町として発展し、江戸時 代は"京発ち守山泊り"といわれて、京を出発して最初の宿泊地として賑わった。

さあ、「今宿の一里塚」を過ぎればいよいよ中山道六十九次の最終「草津宿」で、ここで東海道と合流し大津宿へと続く。あと6kmで長かったこの旅も一段落、ホッとすると共に最後の力をふりしぼり、草津の商店街を通り抜け、草津川(この川は草津の宿より高いところを流れていたので天井川ともいう)のガードをくぐって東海道との追分に出ると、常夜灯を兼ねた石の標柱があり、「右東海道いせみち、左中山道美のぢ」と記されていた。

数十m先には五街道最大級の「草津本陣」が完全な形で復元され、和宮を始め多くの大名などが休息・宿泊した宿帳などが多数保存され、一般公開されていた。

なお、関ヶ原の合戦について、松尾山にこもった小早川秀明の寝返りを督促するため、徳川家康が鉄砲を発砲させたが、その音が秀明本陣には届かなかったことから実際には秀明軍は最初から東軍に付き、主戦場は不破関近くの福島正則が陣取った付近で行われたのではないかとの新説が最近出されている。

2019年12月~2020年2月の予定

注:表中の「CC」は、「地区センター」の略

	1 2月	1月	2月
学習会	予定なし	- 1 /3 予定なし	2月8日(土)能見台CC 13:30~16:30 ・江戸の成り立ちと太田道灌 ・NPO法人 太田道灌顕彰会 会長太田資暁氏
寺社を 巡る会	12月5日(木)10:00 集 合:根岸線 山手駅 テーマ:本牧山頂公園と紅葉の 三 溪園散策 訪問先:本牧山頂公園~本牧神社~ 三溪園(外苑・内縁等)	1月10日(金)10:00 集 合:京急 六郷土手駅 テーマ:六郷の渡しから参詣道を 川崎大師へ 訪問先:六郷の渡し跡〜川崎河港 水門〜川崎大師等	2月6日(木) 集 合:時間・場所未定 テーマ:座学 DVD鑑賞(百寺巡礼) 建長寺、円覚寺、善光寺、 新勝寺
古文書を 読む会	12月12日(木)10時~12時場所:区役所区民活動センターテーマ:磯子村久木 堤家文書12月26日(木)10時~12時場所:区役所区民活動センターテーマ:北搓聞略(大黒屋光太夫)	1月9日(木)10時~12時 場所:区役所区民活動センターテーマ:磯子村久木 堤家文書 1月23日(木)10時~12時 場所:区役所区民活動センターテーマ:北搓聞略(大黒屋光太夫)	2月13日(木)10時~12時 場所:未定 テーマ:磯子村久木 堤家文書 2月27日(木)10時~12時 場所:未定 テーマ:北搓聞略(大黒屋光太夫)
ふれあい の道 歩こう会	12月4日(水)予備日6日(金) 独自コース76番=通算158回 奥武蔵 大霧山 埼玉県 東秩父村・皆野町	1月16日(木)予備日17日(金) 独自コース77番=通算159回 城ケ崎シーサイドコース 静岡県 伊東市	2月20日(木)予備日21日(金) 独自コース78番二通算160回 金剛山から宝山 神奈川県 相模原市
懐かしの 映画を 観る会	12月9日(月) 金沢CC 12:15~ 追憶 9月23日(月) 金沢CC 12:15~ 王様と私	1月13日(月) 金沢CC 12:15~ 無法松の一生 1月27日(月) 金沢CC 12:15~ 冒険者たち	2月10日(月) 金沢CC 12:15~ ラ・ラ・ランド 2月24日(月) 金沢CC 12:15~ 飢饉海峡
浮雲 俳句会	12月22日 9:30~ 第135回例会 能見台CC テーマ 犬吠埼・植物	1月26日 9:30~ 第136回例会 能見台CC テーマ 宗谷岬・時候	2月23日 9:30~ 第137回例会 能見台CC テーマ 越前岬・天文
パソコン を使い こなす会	12月10日(火) 金沢 CC Internet 講座 一ホームページ作成(1)一 12月17日(火) 金沢 CC Internet 講座 一ホームページ作成(2)一 9:30~12:00	1月7日(火) 未定 Office 講座 一 印刷設定 一 1月21日(火) 未定 Office 講座 一 書式設定 一 9:30~12:00	2月11日(火) 未定 WORD 講座 - 文書作成(1) - 2月18日(火) 未定 WORD 講座 -文書作成(2) - 9:30~12:00

連絡先

- ・学習会 090-6176-4543(内田)・古文書を読む会 784-4900(真田)・浮雲俳句会 774-3878(北野)
- ・ふれあいの道歩こう会 787-3250(江口)
- ・懐かしの映画を観る会 080-6639-1606(佐藤)
- 寺社を巡る会 046-866-3339(吉田寿紀)
- ・パソコンを使いこなす会 701-9775(林)

編集後記 *****	発 行 日	2019年11月9日
私は常々、会報は「その会のクオリティを映す鏡」の様なものであると 思っています。我が"わ"の会会報「かねざわ」は、第 1 号が 2002 年	発 行 月	年4回発行(2、5、8、11月)
5月に4ページで発行されました。その後、年4回のペースで発行さ	発 行 者	金沢区生涯学習"わ"の会
れ、直近の70号(2019年8月発行)では48ページのボリュームと	編集長	山腰 策次郎
なっています。何も分量の多いのが良いというわけではありませんが、これだけの分量に見合う活動が行われ、さらにそれを文字に記録して残すということが継続的に行われていることは、当会のクオリティの高さを示すものとして誇って良いことであると思っています。 (鶴岡重典 記)	編集委員	田中 徳明 佐藤 和広 渡邉 紀一 林 元一 田野実 裕之 橘 博章 江口 正彦 鶴岡 重典